

令和 4 年度
(2022 年度)

事業報告書

社会福祉法人おおぞら

目 次

	ページ
1. 法人事業報告書	- 2 -
2. 本部事業報告書	- 9 -
3. はくちょう事業報告書 (生活介護事業)	- 12 -
4. つばさ事業報告書 (就労継続支援B型事業)	- 21 -
5. やまばと事業報告書 (地域活動支援センター I 型事業)	- 30 -
6. やまばと事業報告書 (障害者等相談支援事業)	- 36 -
7. やまばと事業報告書 (特定相談事業・障害児相談事業)	- 40 -
8. 障害児放課後クラブ事業報告書 (放課後等デイサービス事業)	- 44 -
9. しえろ事業報告書 (共同生活援助事業)	- 51 -

1. はじめに

令和4年度(2022年度)の事業を振り返って

コロナ禍の真ただ中だった令和4年度、利用者と職員の健康維持に重点を置いたサービスに努めつつも外部での活動が減少しました。結果的に各事業の日常活動が対外的に紹介する機会が少なくなってしまったのは残念であったといえます。コロナ感染が減少する傾向が出てきた今日この頃、令和5年度は事業計画に謳った活動が積極的に展開できることを願います。

法人の各事業はコロナ禍の制約の中で誠実にサービス提供を行ってきたと自負しつつも、幾つかの好ましからざるサービスの仕方があって、ご家族様から2、3のクレームをいただいたのも確かです。遺憾ながら、厳しい指摘を受け、改めて仕事を見直す機会とすることができたのは、むしろ幸いなことと言えます。職員は常に好ましい支援の在り方を学び利用者の皆さんに質の高いサービスを提供する縁としたいと願うものです。

福祉法人として9年の経験を見直し、少しでも好ましい経営とサービスの提供を改めて決意を新たに事業を展開できるよう気を引き締めたいと思います。

社会福祉法人おおぞら
理事長 今澤隆一郎

2. 総括

社会福祉法人おおぞらとして9年目を迎えた令和4年度においても、これまで同様に、利用者・家族・地域、また日野市を含めた関係諸機関のご理解とご協力のもと、利用者の皆様への安全・安心を基本としたより良いサービスの提供を心がけて事業運営を行ってまいりました。

また、令和4年度においてはコロナ禍の継続する一年でした。図らずも陽性者、又は濃厚接触者が出たこともありましたが、各事業所においては感染症対策に努めながら感染の拡大を極力避けてきた一年でもありました。利用者へのサービス提供に関しては、日常生活及び行事等において制限をせざるを得ないこともあったことは否めません。利用者・家族の協力、また職員の創意工夫により従来とは違ったサービス提供を行うことで安全で充実した一年を過ごすことを心がけてきました。

そういったコロナ禍において、前年度引き続き人材の確保には苦慮した一年でもありました。令和3年度後半から令和4年度前半に複数名の正規職員の退職者が出て、中途採用を行うなどの対策を講じましたが十分な補充には至らず、令和5年度を迎えることとなっています。また職員の高齢化も進み、定年再雇用職員の割合も増えているのも現状です。今後、職員の雇用対策、特に若年層の雇用を進めることと、現在の中堅職員をさらに育成し世代交代がスムーズにいくことが課題となっています。年度後半に昇格試験を行い4名の昇格を行ったことをきっかけに職員組織の若返りにも着手することが急務です。また、令和3年3月に開所したグループホームしえろについては、特に有期契約職員の夜間支援従事者の確保・定着を図り、利用者への365日サービス提供を目指す必要があります。

令和5年度におおぞら設立10年目を迎えるにあたり、つばさ・やまばとの旭が丘の土地及び、はくちょうの日野台の土地の無償貸与の区切りの年となります。11年目以降の有償化について年度の中盤より日野市との調整に入りました。令和5年度においても引き続き調整していくこととなります。また、障害児放課後クラブが入っている平山台健康・市民支援センターについては老朽化により令和10年度閉鎖の計画があること、また令和2年度の指定更新の際、東京都よりセンター自体が耐震化されていないため移転を視野に入れた検討必要であるとの指摘を受けていることを踏まえて、令和5年度以降できるだけ早い時点での移転を行うことを年度の中盤より検討してきました。

以上のように、令和5年度に法人設立10年目を迎え様々な検討課題のある社会福祉法人おおぞらではありますが、今後さらなる安定した自立運営ができるように、令和4年度には十分な具体化がなされなかった、中・長期計画を経営層を中心に法人職員が一丸となって策定し、実践していく必要があります。

3. 【令和4年度の重点目標について】

- (1) 経営組織の強化に努めました。
 - ① 定時評議員会は6月開催しました。
 - ② 理事会を年間4回実施しました。(6月・9月・12月・3月)
 - ③ 評議員の辞任に伴う新たな評議員の選任に伴い評議員選任・解任委員会を12月に開催しました。
 - ④ 令和4年度は運営協議会の開催はありませんでした。
 - ⑤ 経営会議を月1回、原則として第2火曜日に開催しました。
- (2) 中・長期計画(令和5年度から5年間を目安とした)の具体化には至りませんでした。令和4年度後半の経営会議にて今後の組織についての検討を始めました。令和5年度に改めて、組織の在り方を含めた中長期計画の策定に取り組む予定です。
- (3) 利用者支援について
 - ① 利用者の満足と、家族の安心に沿ったサービスの質の向上に努めました。
 - ② 利用者の安全と安心の確保に努めました。
 - ③ 利用者、家族、保護者の声を反映した支援の提供に努めました。
 - ④ 前年に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意した保健衛生面の充実に努めました。
- (4) 施設整備および施設改修を実施しました。
 - ① 建物壁面(西面)のタイルの補修工事(つばさ・やまばと)
 - ② 事務室の空調設備を更新(やまばと)
 - ③ 門扉取付工事(つばさ)
 - ④ 作業訓練室給湯器設置(やまばと)
 - ⑤ 居室改修(しえろ)
 - ※ 予定していたキュービクルの更新工事(つばさ・やまばと)、相談室を活動室に改修する工事(つばさ)は実施できず令和5年度の事業に組み入れます。
- (5) 人事管理の充実について
 - ① 新卒及び中途採用で4月に3名採用しつばさに配属、また5月に1名採用しはくちょうに配属しました。
 - ② 産休及び育児休業に対応する有期契約職員を10月に雇用しました。(つばさ)
 - ③ グループホームしえろの職員体制づくりのための6月に中途採用を行いました但し定着までには至りませんでした。新年度に備え1名中途採用しました。今後も夜勤専従の有期契約職員を含めた人材確保が引き続き必要です。
 - ④ 事務員の人材確保に努めましたが採用には至りませんでした。
 - ⑤ 人事評価制度の適正運用に努めました。今後、管理者面談、自己評価の充実をさらに図る必要があります。
 - ⑥ 委員会及び各事業者を中心に人材育成の充実に努めました。
 - ・研修体系の見直しの具体化には至りませんでした。
 - ・法人研修として「災害対策(BCP)」「(7月)」、「虐待防止」「(10月～1月)」、「感染症対策」「(11月)」を実施しました。
 - ・1月20日(金)にWebによる職員研究発表会を実施しました。
 - ・各事業所においてOJT、OFF-JTの充実に努めました。
 - ・防火・防災管理者講習の受講は1件ありました。(放課後クラブ管理者)
- (6) 社会福祉充実残額が発生したため、6月に社会福祉充実計画の策定を行いました。
- (7) 市内の他法人・他事業所との連携については法人としては十分とは言えませんでした、各事業所単位で連携に努めました。

(8) 委員会の開催と運営

- ① 研修委員会
- ② 虐待防止委員会
- ③ 感染症対策委員会
- ④ 災害対策(BCP策定)委員会
- ⑤ サービス管理責任者会議

上記、4つの委員会と1つの会議を各々のテーマに沿った運営を行いました。

(9) 地域福祉の推進の一環として下記に取り組みました。

- ① 市内一斉清掃に参加をしました。
- ② 旭が丘東地区センター及び日野台地区センターの受付業務を行いました。

(10) 感染症対策に努めました。

- ① 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止のための対策に努めました。
- ② 感染症対策(「新型コロナウイルス感染の疑い発生時の対応チェックリスト」「嘔吐物の処理演習(動画の視聴)」)を事業所単位で法人研修として実施しました。

(11) 災害対策に努めました。

- ① 事業継続計画(BCP)の策定・見直しを随時行いました。
- ② 「災害対策(BCP)」研修を東社協の登録講師派遣事業を活用しウェブセミナー形式で法人研修として実施しました。
- ③ 各事業所にて消防・避難訓練を実施しました。

4. 実施事業

(1) 第二種社会福祉事業

ア 地域活動支援センター(やまばと)の経営

イ 特定相談支援事業(やまばと)の経営

ウ 障害児相談支援事業(やまばと)の経営

エ 障害福祉サービス事業の経営

- ① つばさ:就労継続支援B型
- ② はくちょう:生活介護
- ③ グループホームしえろ:共同生活援助

オ 障害児通所支援事業の経営

- ① 障害児放課後クラブ:放課後等デイサービス事業

5. 役員等構成

(1)役員構成

(令和5年3月31日現在)

役員名	氏名	役員名	氏名
理事長	今澤 隆一郎	理 事	山田 哲道
常務理事	岩下 哲也	理 事	篠 昭義
理 事	千金良 徹哉	理 事	小林 晶子
監 事	北原 博司	監 事	山井 理恵

(2)評議員構成

(令和5年3月31日現在)

役員名	氏名	役員名	氏名
評議員	橋本 正明	評議員	奥住 日出男
評議員	保里 哲夫	評議員	本村 雄一
評議員	川松 ゆり	評議員	野原 久代
評議員	今井 真美		

※ 大澤晃評議員の令和4年11月30日付辞任に伴い、令和4年12月21日開催の評議員選任・解任委員会にて新たな評議員として今井真美氏を評議員として選任しました。

(3)評議員選任・解任委員構成

(委員構成)

(令和5年3月31日現在)

区分	委員氏名	区分	委員氏名
外部委員	古谷 晋	監事	山井 理恵
外部委員	川久保 紀子	事務局員	饒波 亜紀
外部委員	依田 一恵		

6. 評議員会開催状況

開催回数	開催年月日	参加者数	議 題 等
定時 評議員会	令和4年 6月20日(月) 午後1時30分～ 午後3時10分	(評議員) 7名	1. 報告事項 (1) 第1号 令和3年度社会福祉法人おおぞら事業報告について 2. 議決事項 (1) 第1号 令和3年度社会福祉法人おおぞら収支決算の承認について (2) 第2号 社会福祉法人おおぞら社会福祉充実計画の承認について

7. 理事会開催状況

開催回数	開催年月日	参加者数	議 題 等
第1回	令和4年 6月2日(木) 午後1時50分～ 午後3時30分	(理事) 6名 (監事) 2名	1. 議決事項 (1) 第1号 令和3年度社会福祉法人おおぞら補正予算(第6回)専決処分の報告、同意について (2) 第2号 令和3年度社会福祉法人おおぞら事業報告の承認について (3) 第3号 令和3年度社会福祉法人おおぞら収支決算の承認について (4) 監査報告 (5) 第4号 社会福祉法人おおぞら社会福祉充実計画について (6) 第5号 社会福祉法人おおぞら施設長の選任について (7) 第6号 令和4年度社会福祉法人おおぞら定時評議員会の招集事項について 2. 報告事項 ・ 理事長及び業務執行理事の職務の執行状況報告について ・ その他の報告事項
第2回	令和4年 9月12日(月) 午前10時00分～ 午前10時30分	(理事) 6名 (監事) 2名	1. 議決事項 (1) 第7号 令和4年度社会福祉法人おおぞら補正予算(第1回)専決処分の報告、同意について (2) 第8号 令和4年度社会福祉法人おおぞら補正予算(第2回)の認定について (3) 第9号 社会福祉法人おおぞら育児・介護休業規程の一部改正について 2. 報告事項 ・その他の報告事項
第3回	令和4年 12月12日(月) 午後1時25分～ 午後2時00分	(理事) 6名 (監事) 2名	1. 議決事項 (1) 第10号 令和4年度社会福祉法人おおぞら補正予算(第3回)の認定について (2) 第11号 社会福祉法人おおぞら評議員候補者の推薦について 2. 報告事項 ・ 理事長及び業務執行理事の職務の執行状況報告について ・ その他の報告事項
第4回	令和5年 3月29日(水) 午後1時40分～ 午後3時05分	(理事) 6名 (監事) 2名	1. 議決事項 (1) 第12号 令和5年度社会福祉法人おおぞら事業計画の承認について (2) 第13号 令和5年度社会福祉法人おおぞら収支予算の承認について (3) 第14号 社会福祉法人おおぞら給与規則の一部改正について (4) 第15号 社会福祉法人おおぞらグループホームしえろ(共同生活援助)運営規程の一部改正について (5) 第16号 社会福祉法人おおぞら施設長の選任について (6) 第17号 社会福祉法人おおぞら福祉・介護職員等ベースアップ等支援加算手当の支給に関する規程の制定について

			(7) 第18号 社会福祉法人おおぞら福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金手当の支給に関する規程の廃止について 2. 報告事項 ・グループホームしえろ実地検査に関する報告について ・その他の報告事項
--	--	--	--

8. 監査の実施状況

開催年月日	出席者	監査事項	監査結果報告
令和4年 5月23日 (月) 午後1時15分 ～ 午後4時30分	1. 監 事 北原 博司 山井 理恵 2. 立会人 理事長 常務理事 各施設長 経理担当者 管理者	1. 令和3年度 事業報告 2. 令和3年度 決算報告	1. 事業報告等の監査結果 ①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。 ②理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められず。 2. 計算関係書類及び財産目録の監査結果 計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

9. 運営協議会の開催状況

・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、運営協議会は中止としました。

10. 評議員選任・解任委員会開催状況

開催回数	開催(決議)年月日	参加者数 (同意者数)	議 題 等
評議員選任・ 解任委員会	令和4年 12月21日(水) 午前10時00分～ 午前10時10分	(評議員選任・ 解任委員) 4名	1. 議決事項 (1) 第1号 社会福祉法人おおぞら評議員選任・ 解任委員会委員長の選出について (2) 第2号 社会福祉法人おおぞら評議員の選任 について

11. 苦情解決第三者委員

(令和5年3月31日現在)

氏 名	氏 名
尾曲幹彦	川久保 紀子

※第三者委員の立ち合いの苦情はありませんでした。

12. 規則、規程の整備

- (1) 社会福祉法人おおぞら 育児・介護休業規程の一部改正
- (2) 社会福祉法人おおぞら給与規則の一部改正
- (3) 社会福祉法人おおぞらグループホームしえろ(共同生活援助)運営規程の一部改正
- (4) 社会福祉法人おおぞら福祉・介護職員等ベースアップ等支援加算手当の支給に関する規程の制定
- (5) 社会福祉法人おおぞら福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金手当の支給に関する規程の廃止

13. 研修関係

法人内研修

法人研修として、「災害対策(BCP)」をウェブセミナー方式、「虐待防止」「感染症対策」を各事業所単位で実施しました。
また、職員研究発表会をウェブセミナー方式で実施しました。

研修名	時 期	参加者	備 考
災害対策 (BCP)	7月29日	(職員・再雇用職員) 21名 (有期・無期契約職員) 1名 計 22名	東社協登録派遣事業 ウェブセミナー方式
虐待防止	10月19日～ 1月17日	(職員・再雇用職員) 23名 (有期・無期契約職員) 21名 計 44名	事業所単位で 実施
感染症対策	11月7日～ 11月22日	(職員・再雇用職員) 21名 (有期・無期契約職員) 21名 計 42名	事業所単位で 実施

研修名	開催日	参加者	備 考
職員研究発表会	令和5年 1月20日(金)	(職員・再雇用職員) 24名 (有期・無期契約職員) 10名 計 34名	ウェブセミナー方式

14. 資格取得状況(令和4年度取得)

- ・ 社会福祉士 実績なし ・ 精神保健福祉士 実績なし
- ・ 介護福祉士 実績なし

15. 寄附状況

法人及び事業所に対し下記のとおり寄附がありました。

3 件	410,000 円	(内訳) 家族等(1件) その他(2件)
-----	-----------	-------------------------

【施設概要】

職員配置

(令和5年3月31日現在)

理事長	1名	非常勤 (兼務)	
常務理事 業務執行理事 統括施設長	1名	常勤 (兼務)	事務長、障害児放課後クラブ施設長、しえろ施設長を兼ねる
事務員	2名	常勤	2名

【本部事業について】

- ・ 法人事業方針に基づいて、経営・事業課題に取り組みました。
- ・ 各事業所との連携強化と法人事務局体制の強化に努めました。

(1) 理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会、監事監査の開催及び実施

① 理事会・評議員会の開催

	回数	開催月
理事会	4回	6月・9月・12月・3月
評議員会	1回	6月(※定時評議員会)

② 評議員選任・解任委員会の開催

評議員選任・ 解任委員会	12月21日(水)	任期満了に伴う評議員の選任
-----------------	-----------	---------------

③ 監事監査の実施

監事監査	5月23日(月)	令和3年度事業報告、令和3年度決算他
------	----------	--------------------

(2) 経営会議の運営

	構成メンバー	会議の頻度	内 容
経営会議	理事長・常務理事 施設長・主査	(原則として) 1か月に1回 第2火曜日	法人運営について、また各事業の 運営状況及び経営状況の把握・ 検討等を行いました。

(3) 本部職員会議

随時、職員会議を行い、法人の経営等に関する情報共有の機会を持ちました。

(4) 各種委員会の運営への参加

- ・ 令和4年度法人重点目標に取り組むための委員会に参加しました。

- ① 研修委員会
- ② 虐待防止委員会
- ③ 感染症対策委員会
- ④ 災害対策(BCP策定)委員会
- ⑤ サービス管理責任者会議

(5) 人材確保と人材育成の強化

- ・ 本部として、各事業の日常的な安定運営と、将来の安定的な法人職員組織確立に向けた人材確保の必要性を感じつつも、令和4年度においては十分な人材確保ができませんでした。年間を通して複数名の正規職員及び有期契約職員の補充が必要となり、4月、5月及び8月に正規職員の採用を行いました。それでも十分な求人対策ができず補充に至らなかったというのが実態と言えます。しえろについては、前年度に引き続き、特に夜間支援従事者の定着ができませんでした。3月に職員採用試験を行い、しえろの生活支援員の採用1名はありましたが、日中活動の事業所の正規職員の採用に至らず新年度を迎えることとなりました。今後とも継続的かつ緊急な人材確保が必要と思われます。
- ・ 令和2年度から続くコロナ禍の中、外部研修がオンライン化するなど研修の形態が従来に比べ変わりましたが、必要に応じた研修参加に取り組みました。令和4年度も、法人の職員研究発表会もZoomを使つての方式で実施しました。また各事業所単位でも研修の実施(災害対策、虐待防止、感染症対策等)を行い福祉に携わる職員として必要な知識・援助技術の向上を図りました。

(6) 法人職員会議の中止

- ・ 新型コロナ感染拡大防止のため法人職員会議は開催できませんでした。

(7) 法人経営基盤の安定化への取り組みについて

- ・ 経営会議と連携し、各事業の法人設立後8年間の振り返りと現状分析、また今後の方向性について検証しました。
- ・ 年度後半に、社会福祉法人おおぞらとしての法人設立11年目を迎える令和6年度以降の、つばさ・やまばと、およびはくちょうの土地の有償化についての意見交換を日野市障害福祉課と行いました。
- ・ 法人の中・長期計画の策定への取り組みについては具体化されませんでした。次年度以降、引き続き経営会議と連携し、各事業の法人設立後8年間の振り返りと現状分析を行い、法人の中・長期計画の策定に取り組みます。

(8) 職員研究発表会の開催

- ・ 研修委員会と連携して、1月20日(金)に職員研究発表会を開催しました。

(9) 施設整備、施設改修への取り組みについて

- ・ 事業所と連携して施設整備、施設改修に取り組みました。

(10) 各事業所と連携を図りながら、各事業所の抱える課題の解決に向けてのバックアップに努めました。

- ① 各事業の業務向上と職員の心身の安全が維持できるようサポートに努めました。

(11) 規程及び規則等の制定及び改正と労務管理について

- ・ 必要に応じた規定及び規則等の制定及び改正を行いました。
- ・ 社会保険労務士と顧問契約を結び、各種労務管理に関する相談を行ないました。

(12) 研修について

下記の研修に参加しました。

月 日	研修テーマ	主催	参加者	
令和4年 7月11日(月) 8月22日(月)	マイクロソフト365活用セミナー 「マイクロソフト365の概要説明と運用説明」	テックスーパ・ ジャパン	主任	1 名

* 法人内研修

災害対策(BCP)	参加日: 令和4年7月29日(金)	3 名
虐待防止	参加日: 令和4年12月12日(月)又は令和5年1月17日(火)	3 名
感染症対策	参加日: 令和4年11月17日(木)	3 名
職員研究発表会	参加日: 令和5年1月20日(金)	3 名

(13) 地域貢献について

- ・ 地域貢献の一環として、「旭が丘東地区センター」の受付業務を行ないました。
- ・ 市内一斉清掃に参加しました。

総括 自己評価	令和4年4月、七生特別支援学校卒業生(女性)を1名迎え、登録者22名で事業をスタートしました。生活の場所を2カ所(食堂及び作業室)にしたことで、リズム体操を隔週開催とし、運動機会の提供回数を確保しました。行事に関しては宿泊旅行を中止し、代わりにバスハイクを2回実施し、密を避けるために、バスも2台借り上げました。感染症への対応をしながら、外出喫茶2回、外食1回を実施、いずれもテイクアウトか店内喫食を選択してもらい希望に沿った形でサービス提供しました。事業所まつりも中止し、昨年同様法人での作品展を11月に実施しました。事業所内での利用者の感染症の罹患者はなく、生活の場のGHでの陽性者発生による濃厚接触者としての欠席が2名、職員家族の罹患で濃厚接触者による出勤停止が1名ありました。 第3回の家族会(8月実施)のみ、第8波の影響で文書開催とし、そのほかはすべて参集しての家族会が実施できました。開所から35年が経過し、利用者本人及び家族の高齢化が進み、両親ともに他界し、兄弟支援となったご家族が1組、入所申請により8月に1名の女性利用者が八王子の入所施設へ、2月には1名の男性利用者が、山梨県の都外施設へ入所され、利用者は定員同数の20名となっています。職員も1名の女性支援員が定年退職を迎えました。 令和3年11月にGHへ1名の異動の後、令和4年5月に中途採用者の女性支援員を配置し、正規支援員6名となり、人員配置も1.7対1の加算を再びとれるようになりました。しかし、11月に男性支援員の体調不良による退職の申し出があり、再び2.0対1となってしまいました。 竣工35年を経過し、経年劣化による大規模修繕を計画的に実施してきました。平成29年から実施してきた大規模な工事は昨年で終了し、今年度はアルミサッシの一部の修繕工事とガラスをアルミ板に変更する工事を行いました。	

【施設概要】

事業の目的

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、重度知的障害者に対し

- (1) 食事、排泄等の介護、日常生活上の支援
- (2) 軽作業等の生産活動や創作的活動の機会の提供
- (3) (1)や(2)を通じた身体能力、日常生活能力の維持向上

を中心に、情緒安定を基盤としたうえで、個々の利用者の心身の状況に応じた、適切な介護を提供し、利用者の社会的自立への働きかけを行いました。

職員配置

(令和5年3月31日現在)

施設長	1 名	常勤職員 (サービス管理責任者を兼務)
サービス管理責任者	1 名	施設長が兼務
生活支援員	11 名	常勤職員 4.75名 非常勤職員 6名 (常勤換算: 9.7名)
看護師	1 名	非常勤職員(常勤換算:0.05名)
嘱託医	1 名	嘱託(精神科医)

【施設運営方針について】

運営方針項目をさらに進めるため、令和4年度社会福祉法人おおぞら事業計画に則り、職員一人ひとりが事業所経営の視点に立ち、主体的に行動し意識改革に努め、事業の継続や安定性を保ちながら、創意工夫という柔軟性のある運営を目指しました。

【令和4年度重点目標について】

①	福祉専門職としての職員育成に努めます	・ 強度行動障害支援者養成研修(実践研修)に1名の参加ができ、研修報告を回覧し、現場利用者へ活かせるように、今後の取り組み方法を考察しています。 ・ 意思決定場面として選択活動の回数を増やし、丁寧に利用者との向き合い、意思決定をくみ取れるよう支援展開しました。 ・ 虐待防止委員会による定期的なセルフチェックを基に所内研修で虐待事例について話し合い、意識啓発を行いました。 ・ 法人研修では、職員が発表者となり、アルミ缶作業への取り組みと利用者支援についてプレゼンテーションを行いました。
②	法人理念を理解し障害者福祉への理解と情熱をもって、積極的な事業所運営への参加を促し、専門職としての向上はもとより、チャレンジシートを活用した個人目標の設定、面談による評価を行い、将来の法人経営の中核人材の育成に努めます。	・ 法人理念をベースとした事業運営に対する理解促進のために、事業計画を細かく紐解いた「事業運営計画」を作成し、正規職員へ配布し、会議で生活支援方針や作業支援方針等を読み合わせを行い、日常支援の中に利用者の生活の質の向上のための視点をもって支援を展開する話をしました。チャレンジシートは半期の振り返り面談時に達成度を含め話をしましたが、活用までには至っていません。
③	福祉サービス第三者評価の結果を受けて、改善、向上に努めます。	・ 職員のプレゼンテーション能力の向上、中堅職員の育成のための法人理念の浸透などは、会議などで説明してきました。連絡帳のITC化については受け手の利用者家族が高齢のため、改善提案も含め、難しいと思われます。
④	利用率の向上	・ 令和4年度は平均利用実績は90.56%でした。

【新規事業について】

- (1) ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のために、3密回避を目的に「事業所まつり」の開催を見送ってきたことで事業内容の発信や障害当事者への理解促進・意識啓発的な部分の低下を考慮し、利用者の日常成果の発表の場として「作品展」を開催しました。日野煉瓦ホール展示室にて法人全体の事業紹介及び作品の展示・製品の販売、利用者の日常生活の展示を行いました。また、リトミックやリズム体操などの活動動画をホームページにて公開する予定で、ページの作成はできているので、個人情報に配慮した公開を準備しています。

【作業支援方針について】

個別支援計画に基づき、一人一人の興味・関心・能力を把握し、自己選択、自己決定を大切に作業支援を行いました。

作業を通して機能維持や向上、集中力や持続力、責任感や創造力へ働きかけをしました。情緒安定を図りながら社会活動への参加機会の提供を行いました。

【生活支援方針について】

「個別支援計画」に基づき、一人一人の状態にあった支援を行いました。

日中活動における提供プログラムの中で必要かつ適正な支援を行いました。

排泄、食事、更衣など日常生活動作や掃除や交通ルール等日常生活関連動作の働きかけを通して集団意識などの働きかけを行いました。

【保健衛生について】

健康の維持促進、疾病の予防、早期発見を目的に連絡帳による家庭との連携を密に支援をしました。

- (1) 年2回の健康診断を実施しました。
6月、協力医療機関(日野台診療所)にて実施
1月、嘱託医による聴打診

- (2) 2ヶ月に1回、奇数月下旬に嘱託医(精神科)による相談日を設けました。

- (3) 週1回看護師による健康状態の把握と保健衛生対応を行いました。
- (4) 毎月上旬に体重・血圧を測定し、記録を家庭にも通知しました。
- (5) 身体機能の低下の予防と体力維持のため、体を動かす促しを積極的に行いました。

【食事の提供について】

委託による給食提供を行いました。業者は、価格はもとより、安心安全な食材使用や季節感のあるメニューの豊富さなどを基準に選定しました。

(実績)	利用者	4,320食	職員	610食	総提供数	4,939食
	ボランティア	1食	実習生	8食		

【送迎について】

生活介護事業の利用促進と福祉の増進を図ることを目的に、送迎を必要とする利用者については、送迎サービスの提供をしました。

令和4年度、年間延べ利用実績は 8,353名でした。

月別送迎実績

4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計(1)	
714	671	794	740	679	691	4,298	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計(2)	合計(1)+(2)
702	676	658	657	654	717	4,064	8,362名

【家庭との連携について】

利用者の状況を把握するため、家庭との連携を密にし、より利用者のニーズに合った支援を行うため、次のことを実施しました。

- (1) 家族会は第3回を文書開催したほかは、すべて参集しての家族会を実施できました。個別面談も希望者に実施しています。
- (2) 毎日の利用で連絡帳、電話連絡等により家族との意思疎通を図りました。
- (3) 支援計画の説明、修正時には希望により面談を行いました。
- (4) 家族との合同学習会、施設見学会は計画、実施できませんでした。

【関係機関との連携について】

利用者の継続した地域生活と充実した生活のために、利用者、ご家族了承の下、利用しているサービス提供機関と連携し、協力を努めました。

【地域交流について】

法人理念にもあるように「ともに歩む事業体」「地域福祉に貢献できる事業体」として、社会の一員としての自覚を持ち、地域社会に親しみやすい関係づくりに努めました。
感染症の感染拡大防止を考慮し、地域清掃は休止しました。
地域の要望に応え、日野台地区センターの管理・受付業務を行ないました。

【ボランティアの受け入れについて】

感染症の影響でボランティアの受け入れはありませんでした。

(延べ人数)

行事ボランティア	0 名	活動ボランティア	0 名	体験ボランティア	0 名
				総計	0 名

【実習生の受け入れについて】

(1) 福祉施設・保育実習<大学等より>

介護等体験実習生	4 名	社会福祉士実習生	0 名
----------	-----	----------	-----

(2) 特別支援学校等現場実習

・インターンシップ生 2 名

【会議について】

定例・随時の会議を次のとおり開催しました。

職員朝礼	毎日	支援員終礼	毎日
職員会議	9	支援員会議	18
ケース会議	1	総括会議	11

【職員研修について】

生活介護事業の目的達成及び職員の資質・知識及び技能の向上のために各種研修会、講演会等に積極的に参加し、多様化するニーズへ対応できる専門性を高め、事業に活かす努力をしました。

・施設内研修(OJT)

職員会議において施設長・サービス管理責任者より虐待防止及び基本的接遇・自閉症支援における支援者の姿勢に関する研修を実施しました。日常支援における言葉遣いや声の強弱、表情や呼称について具体的な場面に応じたOJTを実施しました。

・下記の通り研修に参加しました。

東社協 知的発達障害部会		
強度行動障害実践研修(オンライン)	支援員	1 名

* 事業所内研修

虐待防止研修	参加日: 令和5年1月13日(金)	10 名
--------	----------------------	------

＊法人内研修口

BCP研修(オンライン)	参加日: 令和4年7月29日(金)	7名
感染症研修	実施日: 令和4年11月10日(木)、24日(木)	9名
研究発表(オンライン)	実施日: 令和5年1月20日(金)	7名

【修繕について】

- ・ 1階作業室窓、鋼板入れ替え工事 1件

【安全管理について】

日常支援における安全管理のための環境整備に努めました。また、利用者の体調変化等に気を配り、異変等があった場合は早期に家庭と連絡を取り適切に対応しました。

- (1) 防災対策として以下を実施しました。

避難訓練	9回
------	----

- (2) 防犯対策

事業所周辺の整理整頓に心がけるほか、必要に応じ警備会社と連携を行いました。

【緊急時の対応について】

- (1) 事故等、緊急対応が必要な事態が生じた場合は、「危機管理マニュアル」に基づいて職員が速やかに適切な対応、行動がとれるよう努めました。
- (2) 各家庭との連絡については、電話連絡網や個別対応により速やかな対応を図りました。
- (3) 警備会社とは、深夜、土曜、日曜日および祝祭日における緊急事態についても、職員に連絡が入り、連携して対応できるようにしました。

【災害対策について】

- (1) 地震・火災については「防災マニュアル」に則り、自衛消防隊組織の各役割分担の対応を行うために、1か月に1回の火災想定避難訓練を行いました。そのうち2回は地震想定後の火災発生による避難訓練を行いました。
- (2) 毎年実施している所内研修において、大規模災害想定によるBCP(事業継続計画)に沿った、役割変更及び対処内容について研修を行い、職員各員の大規模災害時の動きや、緊急避難時の対応物品の確認、それに伴う基本的対応の情報共有を行いました。

【感染症対策について】

- (1) 日常支援におけるグループ化によるソーシャルディスタンスの確保、消毒、検温、手洗いの奨励、食事介助時のフェイスガードの導入などにより、飛沫感染、接触感染のリスクを低減させる取り組みを行いました。
- (2) 法人感染症員会主導により、感染・濃厚接触及び感染の疑いまでを含めた対応マニュアルにより1月下旬の発生時には、適切な対処による早期終息ができたことと、その後の厚生労働省の通知等からの対応マニュアルの更なる整備(Ver6)により、対応がわかりやすく、運用しやすいものとなりました。

【虐待防止のための措置について】

ヒヤリハットや、毎日の終礼で職員個々人が振り返りを行うとともに、職員会議での定期的な意識啓発を実施しました。法人虐待防止委員会による「虐待防止マニュアル」にのっとり、職員セルフチェックリストを実施し、虐待防止マネージャーによる事業所支援現場の見学受け入れ、会議参加により虐待防止意識の啓発に努めました。

【個人情報保護の措置について】

「社会福祉法人おおぞら個人情報保護規程」、「福祉関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン」等に沿って、個人情報の正確性及び重要性を十分認識し、適正な取り扱いに努めました。

個人情報の取得時には、個人情報の使用目的を利用者に理解いただき、同意を得た上で情報を取得しました。また、個人情報の適正管理と安全管理に適切、迅速かつ効率的な対応ができるように、責任体制を明確化しました。

更に、利用者が気軽に問い合わせることができるような体制づくりに努めました。

【苦情解決について】

苦情はありませんでした。

家族からの相談等に関しては誠意をもって対処し、適切に対応することができました。

【環境負荷の軽減・配慮について】

資源ごみ等の分別及び印刷物の裏紙使用等の徹底により、廃棄物の削減を行うとともに、電気、ガス、ガソリン等の使用量を可能な限り減らし、環境への配慮を行いました。

週間・日課表(別紙1参照)

年間行事実施(別紙2参照)

利用状況	・延べ利用者数 4,401名、年間平均稼働率 90.56%、1日平均利用者数 18.1人でした。 ・令和4年度中の新規登録者1名。 退所者2名 令和4年度末、定員20名に対して登録者人数は20名です。 ・送迎サービス利用実績は延べ 8,351名でした。 ※「年齢障害別状況及び障害程度区分別利用者状況」(別表1-1)、 「月別利用状況」(別表1-2)参照			
修繕 実施状況	実施日 令和4年10月28日	修繕項目 作業室窓鋼板取り換え工事	施工業者等 株式会社 張替	金額 33,000 円 円 円
事故処理 状況	発生年月日 令和4年8月5日 令和4年8月8日 令和5年2月7日	事故内容 新型コロナウイルス感染者発症 新型コロナウイルス感染者発症 屋外引率時歩行中の転倒	処理状況 外来受診、GH連絡、待機及び濃厚接触者連絡 外来受診、GH連絡、待機及び濃厚接触者連絡 外来受診、擦過傷、消毒塗布薬で通院終了	

週間表・日課表

(別紙1)

	月		火		水		木		金		
8:30											
8:35	職員朝会・支援員朝会										
9:55	送迎										
10:05	登所・排泄・着替え・他										
10:30	朝 会		朝 会		プログラム全体 リズム体操 運 動	朝 会		朝 会		朝会	
	音楽・体操		音楽・体操			音楽・体操		音楽・体操		音楽・体操	
	作 業		作 業			リトミック 原則として 月2回	作 業		作 業		
	屋外作業・缶回収他	屋内作業 「 缶作業 手 芸 ほか 」	屋外作業・缶回収他	屋内作業 「 缶作業 手 芸 ほか 」			屋外作業・缶回収他	屋内作業 「 缶作業 手 芸 ほか 」	屋外作業・缶回収他	屋内作業 「 缶作業 手 芸 ほか 」	
11:30											
11:40	排泄・着替え・休息他										
12:15	昼食										
13:30	後片付け・歯磨き・休憩										
14:30	作 業 創 作 散 歩 ドライブ		作 業 創 作 散 歩 ドライブ		作 業 創 作 散 歩 ドライブ		ゆとりの時間 掃除・余暇時間		作 業 創 作 散 歩 ドライブ お楽しみの時間		
	お茶の時間						着替え・排泄 帰宅準備 帰りの会		お茶の時間		
15:00	余暇時間						送 迎		余暇時間		
15:10	着替え・排泄								着替え・排泄		
15:20	帰宅準備								帰宅準備		
15:30	帰りの会								帰りの会		
15:40	送 迎								送 迎		
17:00											

月	所内行事		所外行事			その他	
	行事名	実施日	行事名	実施日		行事名	実施日
4	クッキング	4 15					
5	端午の節句	5 6				嘱託医相談日	5 27
6			外出喫茶① バスハイク①	6 14～ 22 6 10		利用者健康診断(はくちょう) 利用者健康診断(日野台診療所)	6 16 6 30
7	七夕	7 8				法人研修(BCP) 嘱託医相談日	7 29 7 29
8						嘱託医相談日	8 26
9			外出喫茶② バスハイク②	9 7～ 24 9 16			
10	クッキング	10 28					
11	クッキング	11 4	法人作品展 (日野市民会館2階展示室)	11 17～ 20		法人研修(感染症)① 法人研修(感染症)② 嘱託医相談日	11 10 24 11 25
12	クッキング	12 2	買物・外食 招待行事 (援農の会)「収穫祭」 クリスマス会 <はくちょう>	12 12～ 23 12 9 12 16		インフルエンザ予防接種	12 1
1			初詣	1 16～ 18		所内研修会(虐待防止) 法人職員研修発表会 嘱託医検診 新型コロナウイルスワクチン接種	1 13 1 20 1 27 1 19
2	節分・豆まき クッキング	2 10 2 14					
3	ひなまつり クッキング	3 3 3 10				嘱託医相談日	3 24
備考	※1 その他、身体測定を毎月行いました。避難訓練を9回行いました。 ※2 利用者の誕生日に誕生会を行ないました。 ※3 「リズム体操」(年23回)、「リトミック」(年21回)行ないました。 ※4 新型コロナウイルスを考慮し、地域清掃は中止しました。						

年齢障害別状況及び障害支援区分別利用者状況

(別表1-1)

(令和5年3月31日現在)

年 齢		～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60歳以上		計
性 別		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
愛の手帳	1度	1										1
	2度	1	2	1	2	2	3	2	2			15
	3度		1					1				2
	4度									2		2
	小計	2	3	1	2	2	3	3	2	2		20
障害支援区分	区分1											
	区分2											
	区分3									1		1
	区分4	1						1				2
	区分5		2					1		1		4
	区分6	1	1	1	2	2	3	1	2			13
	小計	2	3	1	2	2	3	3	2	2		20
精神保健手帳所持者			1							2		3
身障手帳保有者						1		1				2

※ 在籍者の最年少は19歳、最年長は63歳です。
平均年齢は、41.4歳でした。(男性:45.4歳 女性:37.3歳)

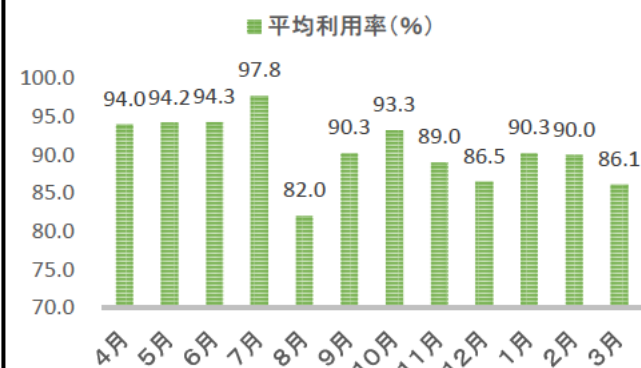
月別利用状況

(別表1-2)

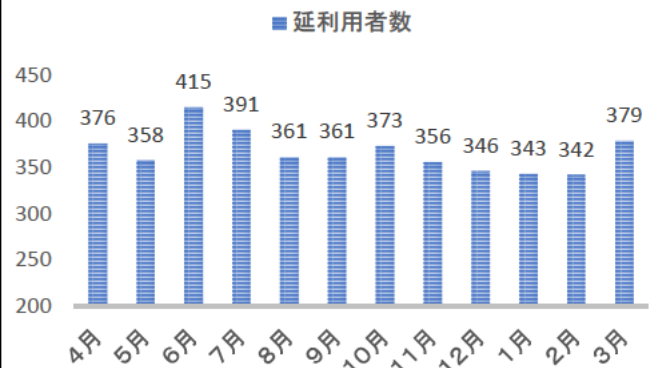
月	4	5	6	7	8	9	小計		
開所日数	20	19	22	20	22	20	123		
定員数	20	20	20	20	20	20	20		
在籍者数	22	22	22	21	21	21	129		
最大利用者数	400	380	440	400	440	400	2,460		
延利用者数	376	358	415	391	361	361	2,262		
平均利用率(%)	94.0	94.2	94.3	97.8	82.0	90.3	92.0		
月	10	11	12	1	2	3	小計	年間集計	
開所日数	20	20	20	19	19	22	120	243	日
定員数	20	20	20	20	20	20	20	20	人
在籍者数	21	21	21	21	20	20	124		人
最大利用者数	400	400	400	380	380	440	2,400	4,860	名
延利用者数	373	356	346	343	342	379	2,139	4,401	名
平均利用率(%)	93.3	89.0	86.5	90.3	90.0	86.1	89.1	90.56	%

※ 定員数をもとに、算出した利用状況です。
※ 最大利用者数は、定員20名に開所日数を乗じた数です。

平均利用率(%)



延利用者数



総括 自己評価	令和4年度も新型コロナウイルス感染症対策に追われた一年でした。国内で初めて感染が確認されてから3年以上が経過しても次々に出現する変異株の脅威からその都度感染者数に一喜一憂し緊張を強いられる日々が続きました。年間を通しての検温、消毒、マスクの着用、外出行事の制限、行事の中止と、利用者には不便な施設での生活をお願いしてきました。しかし、感染者が落ち着いてきた11月頃から土曜活動も再開し、12には日帰り旅行を実施しつばさでの日常を少しずつ取り戻してきました。 利用者関係では、つばさ開設当初から利用して頂いた女性1名が入所施設への入所が決まり退所となりました。また、2月に男性利用者1名を迎い入れることが出来、3月末の在籍人数は35名でした。利用者の平均年齢が40代半ばで、作業に向かい合う事が体力的に困難な方を対象としたグループの活動(園芸作業や創作的活動当)を活発に行いました。作業関係では、全ての作業での受注が減る中で公園清掃や封入封緘作業、陶芸作業と前年度並みにの収入を確保することが出来ました。 職員関係では、5月に1名女性支援員が退職し、4月に3名の新人職員が採用され、ベテラン職員に指導を受けながら利用者支援に取り組んで来ました。今後も施設の特色でもある余暇支援の充実と利用者が幸せに明るく生活出来る様な環境作りを続けて参ります。	
【施設概要】		
事業の目的		
通常の事業所に雇用されることが困難な障害のある方に対し、生産活動などの機会の提供、知識および能力の向上のために必要な訓練などを行いました。		
職員配置		
(令和5年3月31日現在)		
施設長	1 名	常勤職員
サービス 管理責任者	1 名	常勤職員
生活支援員	6 名	常勤職員 3名・非常勤職員 5名(常勤換算3.1名)
職業指導員	1 名	常勤職員
目標工賃 達成指導員	1 名	常勤職員
運転手	1 名	非常勤職員 (常勤換算: 0.5名)
看護師	1 名	非常勤職員
【施設運営方針について】		
利用者一人ひとりが生きがいのある生活が送ることが出来るよう、作業支援を中心に生活支援、余暇支援を充実させました。 また、利用者が日々生き生きとした施設生活が送ることが出来るよう、職員は利用者個々の個別支援計画に基づき支援を実施しました。		
【令和4年度重点目標について】		
①	登録者及び稼働率の向上	新規登録者1名 延べ利用者数7,815名(前年度比30名の減)

②	感染症対策の徹底	引き続き利用者の健康状態の把握や施設内の消毒等の徹底を図りましたが、利用者7名、職員3名の陽性が判明しました。
③	作業収入	作業収入は7,737,306円でした。(前年度比 274,595円減)
④	作業工賃	平均工賃は13,000円を目指しましたが、令和4年度の平均工賃は11,185円でした。(前年度比 209円減)
⑤	余暇支援の充実	12月には日帰り旅行を実施し、コロナ禍でも施設内で出来る行事を行い、作業に向かう気持ちを高め、余暇の充実を図りました。
⑥	虐待防止等の研修の参加	支援員2名が虐待防止、強度行動障害の研修に参加しました。また、虐待防止セルフチェックを受けて職員会議を開催し、職員の行動規範について確認を行いました。
⑦	新人職員への研修	内部研修として全ての作業を体験し、作業内容の把握及び利用者の特性について理解を深めました。また、外部研修として「はじめて社会福祉を学ぶ福祉職員のためのスタートアップ研修」・「職務階層別研修」・「虐待防止権利擁護研修」等に参加し、福祉全般の知識を広めました。

【令和4年度新規事業について】

①	創作的グループの本格的稼働	年齢、体力から作業に向かうことが困難な利用者に対し、農作業や創作的活動を主とするグループを作り活動しました。
②	建物壁面のタイル補修工事	4年度をかけて、建物前面の壁面のタイルの落下防止工事が完了しました。

【実施事業について】

作業全体の収入		7, 737, 306円				
①	作業科目	(自主生産) ・陶芸品等の製造販売 (受託作業) ・封入・封緘業務 ・市内5箇所の公園清掃 ・箱折 ・やまばと及びしえろの清掃 ・日野市指定のごみ袋の販売 (その他) ・資源物の回収(新聞紙・ダンボール・アルミ缶等) ・自動販売機の管理・第六小学校の花壇等の手入れ				
②	作業支援方針	利用者個々の適性や興味等を勘案し、個別支援計画及び作業支援計画に基づき支援しました。				
③	工賃の支払	売上から必要経費を控除した金額を毎月10日に工賃として支給しました。 ・工賃： 延419人支給総額 4, 686, 679円 (前年度比 37, 785円増) ・月額工賃実績 <table><tr><td>令和4年度</td><td>11, 185円</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>11, 394円</td></tr></table>	令和4年度	11, 185円	令和3年度	11, 394円
令和4年度	11, 185円					
令和3年度	11, 394円					

【生活支援方針について】

- (1) つばさを利用する人達の個人の尊厳が保持され、心身ともに健やかに一人ひとりの個性に応じた施設生活が営めるように適切な福祉サービスを提供しました。利用者の支援にあたっては、「個別支援計画」に十分留意し、家族と協力し支援しました。

① 日常生活	食事中のマナーや毎日の服装等、日常生活に係わる支援を行いました。
② 地域社会を通じた活動	近隣自治会の夏まつり、大空祭等は中止となり、活動に参加することはできませんでしたが、11月に法人作品展を開催しました。
③ 余暇活動	土曜活動、忘年会等の施設内での行事を中心とした余暇支援、生活支援を目的とした様々な活動を提供しました。
④ 行事	(別紙2参照)

【保健衛生について】

利用者の健康状態を常に把握し必要な対応をしました。

- (1) 通所時及び作業前の検温、各部屋の消毒、利用者が密にならない様な動線の確保を徹底し、感染予防に努めました。
- (2) 「新型コロナウイルスへの感染の疑いが生じた場合の対応マニュアル」を基本として対応しました。また、嘔吐物の処理についての研修を実施しました。
- (3) コロナウイルス対策として、前年度に引き続き、車両4台によるほぼ利用者全員の送迎を実施しました。
- (4) 協力医療機関でもある日野台診療所及びつばさにおいて、身長、体重、レントゲン、血圧、血液検査、問診等の健康診断を実施しました。また、施設においてコロナワクチンの接種(4回目・5回目)及びインフルエンザの予防接種も行いました。
- (5) 各利用者の衛生面及び健康状態を常に把握するために、下記の内容を実施しました。

・ トレーニング	毎日(ラジオ体操)
・ 健康診断 (5/19・6/2)	1回(血液検査、問診、尿・腸内細菌検査、聴打診)
・ ワクチン接種(9/1・1/19)	施設内でコロナワクチンを接種しました。(第4回・5回)
・ インフルエンザの予防接種(11/17)	1回(血液検査、問診、尿・腸内細菌検査、聴打診)
・ 大掃除	12回(各部屋の清掃)
・ 手すり、トイレ、各部屋の清掃消毒	毎日実施

【食事の提供について】

経費の節減、継続的な給食事業を実施するために、給食事業を委託しました。
委託先:一富士フードサービス(株)

【就労対策について】

就労に必要な情報の収集等を行いました。

【家庭との連携について】

・ 家族会(3回)	6/27・12/7・2/8
・ 担当支援員との懇談会	実施できませんでした。

(家族との合同行事)

・ 大空祭	中止	
・ もちつき	中止	

【関係機関との連携について】

日野市及び特別支援学校との連携を深め、情報交換を行い、1名の利用者が入所しました。

【地域交流について】

地域との交流事業は実施できませんでした

【ボランティアの受け入れについて】

ボランティアの受け入れは行いませんでした。

【実習生の受け入れについて】

特別支援学校等(インターンシップ)	2名
-------------------	----

【会議について】

下記の通り、開催しました。

支援員会議	14回
評定会議	2回
職員会議	3回

【職員研修について】

職員は、職務遂行に全力をあげるとともに、多様化する需要に対応できるよう自己研鑽により専門性を磨き、利用者支援の向上に努めました。

下記の通り研修に参加しました。

日 時	内 容	参加者	
令和4年6月6日	はじめて社会福祉を学ぶ福祉職員のためのスタートアップ研修	支援員	1 名
令和4年6月7日		支援員	1 名
令和4年6月9日		支援員	1 名
令和4年6月10日	新人職員向け研修	支援員	1 名
令和4年7月4日・5日	福祉職員職務階層別研修	支援員	1 名
令和4年8月22日・23日	福祉職員職務階層別研修	支援員	1 名
令和4年8月25日	BCP策定講座	支援員	1 名
令和4年11月7日・8日	中堅職員研修	支援員	1 名
令和4年12月22日	強度行動障害支援アドバンス研修	支援員	1 名
令和5年2月10日	第3回虐待防止・権利擁護研修	支援員	1 名
令和5年2月16日	新人職員フォローアップ研修「本人中心の支援とは」	支援員	1 名

* 法人研修として下記の内容を実施しました。

令和4年7月29日	BCPについて	7 名
令和4年10月19日	虐待防止セルフチェックを受けて	9 名
令和4年11月29日	感染症対策	9 名
令和5年1月20日	職員研究発表会	8 名

【修繕について】

次のとおり計画的に修繕を実施しました。

実施日	修繕項目	施工業者	金額
令和4年10月17日	外壁タイルの補修工事(西面)	キングランリニューアル(株)	4,400,000 円
令和4年10月24日	門扉の修繕(東側)	キングランリニューアル(株)	2,200,000 円

【災害対策について】

(1) 防災対策

消防計画に基づきに火災を想定した避難訓練を実施しました。

(2) 訓練等実施状況

事業所内、事業所外で利用者の安全を図るため下記のとおり訓練を実施しました。

① 火災を想定した避難訓練	3回実施
---------------	------

【感染症対策について】

(1) 日常的な対策

利用者へ一日2回の検温を実施し、健康状態の把握に努めました。各部屋にアルコール消毒液を設置し、入室前の手指消毒を徹底しました。また、全部屋の換気を一日2回行いました。

(2) 感染症の発生及びまん延防止

7月から12月にかけて、利用者7名、職員3名の計10名の新型コロナウイルス陽性が判明しました。

(3) 職員に対する研修

感染症委員会主催の研修を実施しました。「嘔吐物の処理の対応」についての動画を視聴し、マニュアルの読み合わせ、処理用キッドの確認をしました。また、「感染症の疑いが生じた場合」の対応訓練も実施しました。

【緊急時の対応について】

①	自然災害時等の緊急の家庭への連絡については、電話連絡網やメールにより、速やかな対応を図りました。
②	警備会社とは、深夜、土・日曜日及び祝祭日における緊急事態についても、職員に連絡が入り、連携して対応できるようにしました。
③	緊急時対応マニュアルを整備し、組織、任務分担を整備し、万一の緊急事態にも、速やかに適切な対応がとれるようにしました。

【虐待防止のための措置について】

ヒヤリハットや、毎日の終礼で職員個々人が振り返りを行うとともに、職員会議での定期的な意識啓発を実施しました。法人虐待防止委員会による「虐待防止マニュアル」に則り、職員セルフチェックリストを実施し、会議参加により虐待防止意識の啓発に努めました。

【個人情報保護の措置について】

「社会福祉法人おおぞら個人情報保護規程」、「福祉関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン」等に沿って、個人情報の正確性及び重要性を十分認識し、適正な取り扱いに努めました。

個人情報の取得時には、個人情報の使用目的を利用者に理解いただき、同意を得た上で情報を取得しました。また、個人情報の適正管理と安全管理に適切、迅速かつ効率的な対応ができるように、責任体制を明確化しました。

【苦情解決について】

令和4年6月8日、職員の車両運転に対して、利用者家族からの苦情が1件ありました。

【環境負荷の軽減・配慮について】

資源ごみ等の分別及び印刷物の裏紙使用等の徹底により、廃棄物の削減を行うとともに、電気、ガス、ガソリン等の使用量を可能な限り減らし、環境への配慮を行いました。

週間・日課表(別紙1参照)

年間行事実施(別紙2参照)

利用状況	・延べ利用者数7,815名、年間平均稼働率75.4%、1日平均利用者数30.2名でした。 ・令和4年度末、定員40名に対して登録者人数は35名です。		
	※「年齢障害別状況及び障害程度区分別利用者状況」(別表1-1)、「月別利用状況」(別表1-2)参照		
事故処理状況	発生年月日	事故内容	処理状況
	事故はありませんでした。		

週 間 ・ 日 課 表

(別紙1)

時 間	月 曜	火曜	水曜	木曜	金曜	毎月第1及び 第3土曜日
9:00 9:15 9:30 12:00 13:00 15:00 15:35 15:45 15:55 16:00						8:30
	登 所・更 衣					土曜活動
	ミーティング					
	トレーニング					
	作 業 開 始					
	昼 食・休 憩					
	クラブ活動	作業開始	クラブ活動	作業開始		
		作業終了		作業終了		
	全体清掃					
	お 茶					
	更衣・連絡帳記入					
	ミーティング					
降 所						

(別紙2)

令和4年度 年間行事実施 っ ば さ					
月	行 事 名				その他
	施設内	施設外	土曜活動	避難訓練	
4					
5	端午の節句(5/6) 健康診断(5/19)				
6	6/23～6/24 日野 一中学生職場体験 (2名)	6/2 健康診断 (日野台診療所) 6/28 ボウリング (SAP日野ボウル)	6/4 青梅鉄道公園 (利用者18名参加) 6/18 小金井公園 (利用者18名参加)	6/27 避難訓練	6/27 家族会
7	7/6 ボッチャ 7/7 セタ		7/2 稲城発信基地(ペアテラス) (利用者16名参加) 7/16 高尾トリックアート美術館 (利用者12名参加)		
8	8/19 お楽しみ会 (おやつ作り)				
9	9/1 コロナワクチン接 種(第4回) 9/16 お楽しみ会 (ビンゴ大会)			9/27 避難誘導訓練	
10			10/15 青梅釜の淵公園 (利用者13名参加)		
11	11/2 ボッチャ 11/17 インフルエン ザ予防接種	法人作品展(11/18～ 11/20) 日野市民会館2階展示室	11/5 郷土の森 (利用者13名参加) 11/19 多摩モノレール (利用者16名参加)		
12	12/28 大掃除	12/16 忘年会 (味の民芸) 12/9 日帰り旅行 (東京タワー・マクセル品川) 12/20 ミュージカル鑑 賞 府中の森芸術劇場	12/3 多摩動物公園 (利用者13名参加) 12/17 深大寺 (利用者12名参加)		12/7 家族会
1	1/4 新年会 1/11 成人を祝う会(3名) 1/19 コロナワクチン 接種(第5回)		1/8 高幡不動 (利用者16名参加) 1/21 薬師池公園・西山美術館 (利用者11名参加)		
2	2/3 節分 2/22 入所式(男性)	2/14 ボウリング (SAP日野ボウル) 2/24 木下大サーカス鑑賞 (立川市)	2/4 ヒトントンZOO (利用者17名参加) 2/18 府中競馬場 (利用者13名参加)		2/8 家族会
3	3/3 ひなまつり 3/27 お花見	3/29 スポーツ体験教室 (南平体育館) 3/15 立川防災館見学	3/18 ベトナム寺院・タイ寺院 (利用者16名参加) 3/4 青梅市梅の公園 (利用者18名参加)	3/30 避難誘導訓練	
そ の 他	・毎月誕生日会を実施しました ・毎週月曜日、水曜日の午後クラブ活動を実施しました				

年齢障害別状況及び障害支援区分別利用者状況

(別表1-1)

(令和5年3月31日現在)

年 性	齢 別	～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60歳以上		計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
愛の手帳	1度											
	2度		1	1		1		1				4
	3度	1	1	3	1	3	2	5	3			19
	4度	1	2			1		2	2		2	10
	無		1					1				2
	小計	2	5	4	1	5	2	9	5		2	35
障害支援区分	区分1											
	区分2	1	2				1	3				7
	区分3		2			1		2	1			6
	区分4			3	1	3	1	2	3		1	14
	区分5		1	1					1		1	4
	区分6											
	小計	1	5	4	1	4	2	7	5		2	31
身障手帳保有者				1								1

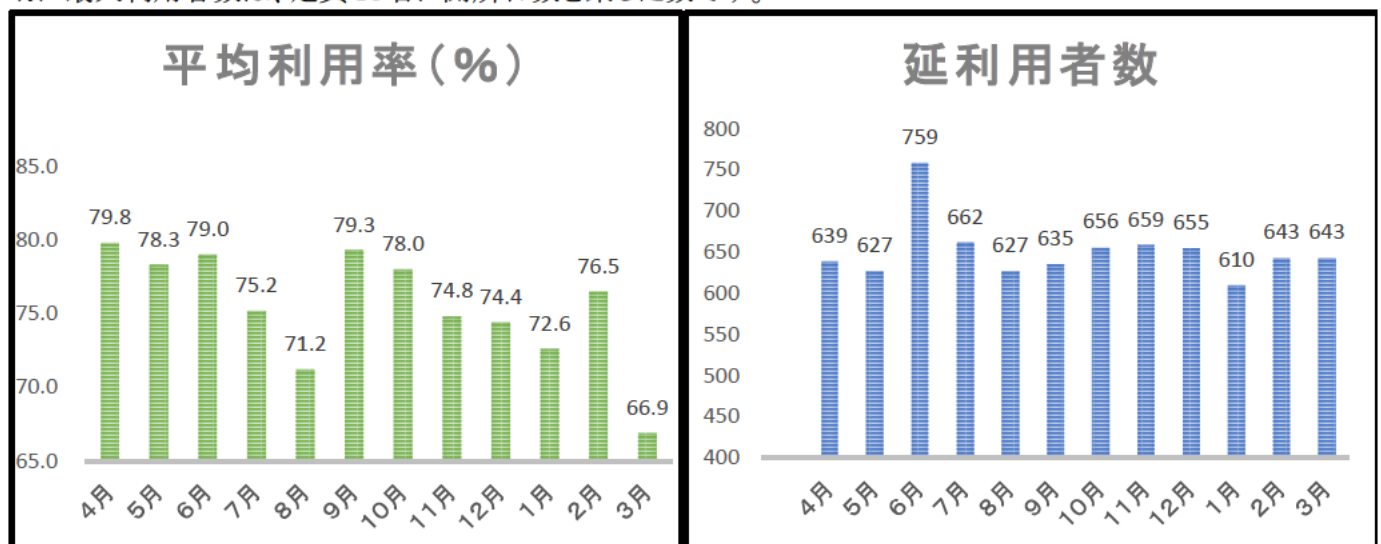
※ 在籍者の最年少は20歳、最年長は62歳です。
平均年齢は、43.5歳でした。(男性:44.2歳 女性:42.5歳)

月別利用状況

(別表 I -2)

月	4	5	6	7	8	9	小計		
開所日数	20	20	24	22	22	20	128		
定員数	40	40	40	40	40	40	40		
在籍者数	35	35	35	35	35	35	—		
最大利用者数	800	800	960	880	880	800	5,120		
延利用者数	639	627	759	662	627	635	3,949		
平均利用率(%)	79.8	78.3	79.0	75.2	71.2	79.3	77.1		
月	10	11	12	1	2	3	小計	年間集計	
開所日数	21	22	22	21	21	24	131	259	日
定員数	40	40	40	40	40	40	40	40	人
在籍者数	35	35	35	35	35	35	—	—	人
最大利用者数	840	880	880	840	840	960	5,240	10,360	名
延利用者数	656	659	655	610	643	643	3,866	7,815	名
平均利用率(%)	78.0	74.8	74.4	72.6	76.5	66.9	73.7	75.4	%

※ 定員数をもとに、算出した利用状況です。
※ 最大利用者数は、定員40名に開所日数を乗じた数です。



総括 自己評価	前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中利用者に陽性者が出ましたが、事業所内での感染拡大はなく事業を休止することはありませんでした。事業所の感染対策の取り組みを通じて「やまばとには参加が出来る」といった安心感を持ってもらう事が出来ています。 基礎的事業に関しては、ボランティアセンターの協力を得て活動の一つ追加する事が出来ました。ただ、送迎の関係から定員一杯まで利用を増やすことが出来ず今以上の稼働率アップは望めません。また、今年度は一時的・通過的な利用が多い事が特徴でした。一方で、65歳を迎えても活動の継続を希望する利用者もあり、活動の柔軟性が求められるようになっていきます。 機能強化事業に関しては、社会全体がウィズコロナの方向で向き始めたことで実施の機会が増えました。また、基礎的活動の利用者が抱える課題に対して多職種との連携が求められるケースが増え、地域活動支援センターからの問題提起や関係者会議への出席の機会が増えました。 法人全体としては、昨年度に引き続き『おおぞら作品展』を開催しました。今回は法人内の5つの事業所紹介にも取り組みました。共同作品の取り組み、販売に向けた作品作りは利用者にとっての大きな励みになり活動への意欲に繋がっています。	

【施設概要】

事業の目的

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)に基づく日野市在宅障害者福祉サービスの拠点として、地域活動支援センターに係る基礎的事業及び機能強化事業を実施することにより、障害者等の地域生活を支援することを目的とします。

職員配置

(令和5年3月31日現在)

施設長	1名	常勤職員 (地域活動支援センター指導員及び相談支援専門員兼務)
相談員	1名	常勤職員 (特定相談支援事業、障害児相談支援事業の相談支援専門員兼務)
指導員	3名	常勤職員 2名(兼務) 非常勤職員 1名(専任)
運転手	1名	非常勤職員 1名

【施設運営方針について】

障害者が主体的に活動することが出来るよう体制整備に努めます。また障害者の自立と社会参加を促進する為、利用者相互および地域住民との好ましい交流が図れるよう配慮します。

【令和4年度重点目標について】

地域活動支援センターの利用者だけでなく、在宅で生活する障害者の生活を支援していく為に、地域活動支援センターⅠ型としての基礎的事業と機能強化事業の有機的な展開に努めました。近隣や市内の関係機関での実施を想定していましたが、総括でも述べたように地域活動支援センターの利用者の課題解決のために関係機関との連携を求める機会が多くなりました。

啓発活動に関しては、障害を持つ当事者からの発信の場を一つ増やすことが出来ました。

【基礎的事業】

1. 創作的活動の機会の提供

新たな活動も含め15種類のプログラムを提供し、延べ1,919名の利用がありました。感染症予防策を徹底し、講師・ボランティアの協力を得て活動を継続することが出来ています。「自分の機能は自分で維持する」といった意識を持った利用者が軽体操に多く参加していますが、加齢や病状の変化から自身の「機能評価を受けたい」「運動に変化を持たせたい」といった意向に沿って、不定期ですが理学療法士に介入してもらうことになりました。個別訓練のメニューにも幅が出ています。

登録者数 36 名 新規利用者 8 名 終了者 5 名

活動内容	講師	実施日	実施回数	登録人数	参加延べ人数
軽体操	職 員	毎週月曜日・午前	47	8	221
		毎週火曜日・午後	46	9	195
		毎週木曜日・午後	42	12	251
絵てがみ	奈良 一美	毎週月曜日・午後	47	5	95
音楽療法	占部 理恵子	毎週火曜日・午前	50	11	251
おりがみ	職 員	第1・3・5水曜日・午前	23	9	112
おやつ作り	職 員	第2水曜日・午後	11	11	89
個別活動	職 員	第1水曜日・午後	10	8	48
		第3水曜日・午後	9	10	34
		第3木曜日・午前	12	5	24
DVD鑑賞会	職 員	第3水曜日・午後	9		36
散歩	職 員	第5水曜日・午前	4	6	18
リズム体操	前田 致加子	第2・第4水曜日・午前	23	12	137
歌で遊ぼう	太田 浩美	第4水曜日・午後	11	13	72
		第1木曜日・午前	10	9	46
みんなでワーク	職 員	第5水曜日・午後	4	6	17
		第5木曜日・午前	3	5	5
ミニスポート	職 員	第2木曜日・午前	11	7	34
調理活動	職 員	第4木曜日・午前	11	8	50
初めてのパソコン	小笠原 正久	第4金曜日・午前	6	8	22
藤工芸	張替 早智子	毎週金曜日・午後	49	5	162
合 計			438		1,919

* 活動時間 午前 9:30～11:30 午後 13:30～15:30

<月別利用状況>

※ 1日定員20名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243
月末登録者数	27	29	30	30	32	31	33	33	33	33	33	32	
延べ利用人数	160	146	195	164	181	156	166	169	176	159	154	185	2,011
稼働率(%)	40.0	38.4	44.3	41.0	41.1	39.0	41.5	42.3	44	41.8	40.5	42	41.4

(R3年度)

<送迎利用状況>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
運行回数	72	68	80	70	79	72	74	72	74	70	68	80	894
延べ利用人数	241	218	277	246	256	260	247	254	263	221	210	259	2,952

2. 利用者交流会

火水木の3つの曜日での開催に変更して2年目、延べ92名の参加がありました。車の関係から定員が9名設定の為、企画によっては応募多数で抽選を行うことも多くなりました。

食事を伴う1日の外出行事は、感染症を考慮しすべて中止としましたが、実施時間を延長した企画もありました。

実施日	実施内容	参加者数
4月13日(水)	お花見散歩～オリエンテーリング	9
5月10日(火)	クリラ工場見学(町田)	6
6月30日(木)	ひかりプラザ見学(国分寺)	9
7月20日(水)	南平体育館見学・卓球・ミニスポート	8

8月25日(木)	東京農工大学科学博物館見学(小金井)	8
9月21日(水)	ゆる〜いうんどうかい(南平体育館)	6
10月13日(木)	JRA競馬博物館見学(府中)	9
11月10日(木)	クリーンセンタープラスチック類資源化施設見学	7
12月7日(水)	南極北極博物館見学(立川)	8
1月31日(火)	木下大サーカス鑑賞(立川)	9
2月14日(火)	クリーンセンター可燃ごみ施設見学	5
3月15日(水)	ボウリング大会	8
合 計		92

【機能強化事業】

1. 保健・医療・福祉の連携強化

在宅で生活をする障害者及び障害児の相談支援の為に、保健・医療・福祉の連携が欠かせません。日頃からのスムーズな連携の為に、日野市自立支援協議会(本会・相談支援部会)、日野市障害者差別解消支援地域協議会等に積極的に参加し、関係機関の情報収集に努めました。

また今年度は、基礎的活動の利用者が抱える課題に対して多職種との連携が求められるケースが増え、地域活動支援センターからの問題提起や関係者会議への出席の機会が増えました。

2. 地域ボランティアの育成

日頃の活動や行事等にボランティアを積極的の受け入れる姿勢を持ち続けボランティアセンターにも募集依頼を継続してきましたが、感染症の影響もありボランティアセンターからの新規の受入れはありませんでした。しかし、直接事業所に問い合わせを頂き2名の新しいボランティアが活動に入りました。年度末にはボランティア懇談会を開催し、情報交換・意見交換を行いました。

日野市社会福祉協議会主催の『夏の体験ボランティア』は希望者がなく、受け入れはありませんでした。

3. 障害に対する理解を促す普及啓発

利用者交流会での外出で様々な地域との関わりを持つことが出来ました。また、外出先との打ち合わせにより障害や事業所に対する理解を深めてもらう機会に繋がりました。

また、第四中学校で1年生対象に行われた『福祉講座』には今年度も利用者自らが語る場を設け、障害に対する理解を深めてもらう機会としました。『車いす・アイマスク体験』では、ボランティアセンターに協力を依頼し準備を進め、学校との協働で体験の指導に当たりました。

更に明星大学福祉実践学科の講義にゲストスピーカーとして利用者を送り出すことが出来ました。

【地域交流について】

1. 通信やホームページを活用し、施設の情報を積極的に発信してきました。

2. 『おおぞら作品展』開催

日時 11月18日(金)～20日(日)

会場 日野市民会館2階展示室

前年度に引き続き活動の成果の発表の場、障害に対する理解を促す普及啓発の場の確保として、つばさ・はくちょうとの協働で『おおぞら作品展』を開催しました。

事業紹介・活動紹介、個別活動を含む4つの創作的活動の作品展示、絵てがみのカレンダーや個別活動で作製したクリスマスツリー等の販売を行いました。作品作りの様子を写真掲載したことで見学者にも分かりやすく伝わったようです。カレンダーは完売し利用者の励みになり活動への意欲につながりました。

【相談支援について】

(障害者等相談支援事業・基本相談を含む)

相談支援としては、地域活動支援センターにおける一般相談と、障害者等相談支援事業、更に特定相談支援事業所及び障害児相談支援事業所として福祉サービス等の利用に係る計画相談支援と基本相談支援があり、これらを全て併せて対応しています。

サービスを利用せずに生活をしてきたが家族共に年齢を重ねてきたことでどこかに繋がりたいといったケースや65歳を迎えるにあたってどのように動いたら良いのかといった相談が目立ちました。

また、一昨年度より日野市障害者差別解消推進条例に基づく障害を理由とする差別に関する相談窓口となりましたが、直接的な相談はありませんでした。

(相談方法)

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
件数	153	158	8	1,405	312	72	1,502	194	3,804

(相談内容)

	福祉サービスの利用等	障害や病状の理解	健康・医療	家族関係	保育・教育	恋愛	家計・経済	住居	生活全般
件数	2,371	468	776	321	2	17	42	111	2,433
	社会参加・余暇活動	権利擁護	対人関係	連絡調整	情報提供	話し相手	ケア会議	その他	計
224	62	86	59	471	915	18	46	352	8,774

【実習生の受け入れについて】

感染症対策を講じながら実習生の受入を行いました。

感染症の影響により中学生の職場体験は学校側の中止により受け入れはありませんでした。

	実 習 内 容	期 間	人 数	延べ人数
1	社会福祉士実習	8/2～9/3	1	24
2	教員職員免許法の特例による介護等体験	10/17～12/16	6	30

【会議について】

会議名	対象職種	会議日	実施回数
やまばと職員会議	全員	第3金曜日9:00～	12回
地活ミーティング	全員	第3金曜日10:30～	11回
送迎会議	全員	月1回	10回

【職員研修について】

あらゆるニーズに対応出来る様、職員の資質の向上を図ることを目的に研修を実施、参加しました。また、法人の内部研修に参加をし障害者福祉サービス提供事業所として感染症対策・災害対策・虐待防止についての理解を深めました。

(1) 外部研修

主 催	研 修 名
東京都福祉保健局	東京都相談支援従事者現任者研修 社会福祉事業従事者人権研修【Ⅰ】
日本社会事業大学	発達障害児者支援における教育と福祉の連携について
東京都社会福祉協議会	パワハラ新法はみんなのテーマ～しない・許さない心得 どうすればすべての人の人権を守るトップリーダーになれるか

NBCソフトウェア	アルコール依存症と気分障害
日野市社会福祉協議会	『何があっても福祉サービスを続けるには』福祉防災計画の策定と運用 介護現場でのリスクマネジメント
日野市高次脳機能障害支援センターつくし	高次脳機能障害に関する基礎知識・当事者心理について 高次脳機能障害者支援の方向性～環境としての家族支援の大切さ～
障害者差別のない日野市をつくる会	障害者差別のないまちは誰にとっても住みやすい！

(2) 事業所内研修

日 時	内 容
令和4年11月7日(月)	吐しゃ物の処理・コロナ陽性者発生時の対応
令和5年1月6日(金)	障害者虐待防止法の理解と対応

※事例検討会 12回 11ケース

(3) 法人内研修

日 時	内 容
令和4年7月29日(金)	BCPについて 講師:安原照雄氏(東社協登録講)
令和4年11月7日(月)	吐しゃ物の処理・コロナ陽性者発生時の対応
令和5年1月6日(金)	障害者虐待防止法の理解と対応
令和5年1月20日(金)	職員研究発表会

【修繕について】

①老朽化に伴う修繕を計画的に行いました。

修繕項目	施工業者	金額
南面外壁タイルの補修工事	キングランリニューアル(株)	4,400,000 円
事務室空調機交換	大平電気	1,100,000 円

②その他修繕及び改修工事を下記の通り行いました。

修繕項目	施工業者	金額
作業訓練室給湯器設置	秋間ボーリング協会	381,700 円
〃 ガス管修繕	ミライフ(株)	16,500 円
誰でもトイレ人感ランプ設置	大平電気	94,050 円
男子トイレウォシュレット修繕	秋間ボーリング協会	79,200 円

【安全管理について】

*事業所全体でつばさとの協働

- ①自衛消防隊を設置し、安全管理に努めました。
- ②避難訓練(火災想定)を3回実施しました。
- ③新型コロナウイルス感染拡大に伴い、法人内の感染症対策委員会にて感染防止策の確認と徹底、マニュアルの見直しに努めました。

【災害対策について】

- ①災害対策委員会を中心に研修の実施や訓練の計画を立てました。
- ②備蓄の棚卸しを行いました。
- ③利用者職員等に非常食等を配布し、災害時への備えを呼びかけました。

【感染症対策について】

- ①うがい手洗い検温チェックシートを作成し、職員の日常的な健康状態について把握しました。
- ②消毒の徹底と換気に努めました。
- ③法人内の感染症対策委員会に参加し、感染症発生時の対応についての周知・研修に取り組みました。
- ④新型コロナウイルス感染の疑いが発生したことを想定してのシミュレーション訓練を行いました。(R4年11月7日)

【事故防止について】

今年度は6件のヒヤリハットと3件の事故報告が上がりました。
環境整備や利用者の特性を理解することで防げるものもありましたが、利用者の急激な状態の変化に予測しきれなかったこともありました。日々の観察と振り返りの中で気づきを多く持てるようにしていく事で事故防止に努めていきます。

【虐待防止のための措置について】

利用者の人格を尊重する視点に立ったサービスを提供し、利用者の人権の擁護、虐待の防止等のために研修を実施しました。（事業所内研修・法人研修参照） また、法人における虐待防止委員会による「職員セルフチェックリスト」にも取り組み、不適切な対応を防止する為の話し合いやケース検討を実施してきました。年度末より『気付きの箱』を設置し、良い気付きも含めて共有し合う仕組みを作りました。

【個人情報保護の措置について】

「社会福祉法人おおぞら個人情報保護規程」、「福祉関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン」等に沿って、個人情報の正確性及び重要性を十分認識し、適正な取り扱いに努めました。

【苦情解決について】

今年度の苦情はありませんでした。

【環境負荷の軽減・配慮について】

資源ごみ等の分別及び印刷物の裏紙使用等の徹底により、廃棄物の削減を行うとともに、電気、ガス、ガソリン等の使用量を可能な限り減らし、環境への配慮を行いました。

総括 自己評価	事業所内での職員体制の再編が行われ、全体で相談を受ける体制が整った事、相談担当者会議を開催し情報共有を図った事で相談支援のスキルがあがりました。一人暮らしであったり家族との関係でやり場のない思いを抱える方からの相談と言うよりは話し相手といった役割を担う事も多くなっています。 自立支援協議会をはじめ市内の様々な協議会のメンバーになっている事でより多くの学びを得ることもつながっています。特に地域の共助の基盤づくり事業「わがまる」での事例検討会ではチームとしての対応力の向上の重要性を再確認する機会となりました。研修への参加と併せて多様化する相談に応じられるよう、今後も職員の資質の向上に努めたいと思います。									
【施設概要】										
事業の目的										
障害者及び障害児の保護者または障害者等の介護を行う者からの相談に応じ、必要な援助を行う事により、障害者等身近な地域で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援します。										
職員配置										
(令和5年3月31日現在)										
施設長		1名	常勤職員（施設長、相談支援専門員・地域活動支援センター指導員兼務）							
相談支援専門員		3名	常勤職員（兼務）							
事務員		1名	非常勤職員（兼務）							
【令和4年度重点目標について】										
地域活動支援事業・特定相談支援事業と一体的に運営し、在宅で生活をする障害者の地域生活を支援に努めました。広報活動については、パンフレットの更新やホームページでの周知を図りましたが、積極的な活動といった点では課題が残りました。 新型コロナウイルスを中心とした感染症対策を徹底し、面会や訪問に一定の制限はあるものの事業を滞らせることなく実施してきました。										
【実施事業について】										
(一般相談・基本相談を含む)										
相談支援としては、地域活動支援センターにおける一般相談と、障害者等相談支援事業、更に特定相談支援事業所及び障害児相談支援事業所として福祉サービス等の利用に係る計画相談支援と基本相談支援があり、これらを全て併せて対応しています。 サービスを利用せずに生活をしてきたが家族共に年齢を重ねてきたことでどこかに繋がりたいといったケースや65歳を迎えるにあたってどのように動いたら良いのかといった相談が目立ちました。 また、一昨年度より日野市障害者差別解消推進条例に基づく障害を理由とする差別に関する相談窓口となりましたが、直接的な相談はありませんでした。										
利用状況	(相談方法)									
		訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
	件数	153	158	8	1,405	312	72	1,502	194	3,804

(相談内容)									
	福祉サービスの利用等	障害や病状の理解	健康・医療	家族関係	保育・教育	恋愛	家計・経済	住居	生活全般
件数	2, 371	468	776	321	2	17	42	111	2, 433
就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	対人関係	連絡調整	情報提供	話し相手	ケア会議	その他	計
224	62	86	59	471	915	18	46	352	8, 774

【関係機関との連携について】

日野市並びに地域の保健、福祉、医療及び教育等、様々な機関との連携を図り、総合的なサービスの提供に努めました。

また、日野市自立支援協議会・相談支援部会・差別解消支援地域協議会・わがまる等の会議に参加し情報共有に努めました。その他、ゆうき連絡協議会、日野市高次脳機能障害者支援関係機関連絡会等にも参加をし、相談支援の在り方を再確認してきました。

【実習生の受け入れについて】

感染症対策を講じながら実習生の受入を行いました。

感染症の影響により中学生の職場体験は学校側の中止により受け入れはありませんでした。

	実 習 内 容	期 間	人 数	延べ人数
1	社会福祉士実習	8/2～9/3	1	24
2	教員職員免許法の特例による介護等体験	10/17～12/16	6	30

【会議について】

会議名	対象職種	会議日	実施回数
やまばと職員会議	全 員	第3金曜日	12
ケース検討			12
相談支援担当者会議	相談支援専門員	第1金曜日	12

【職員研修について】

あらゆるニーズに対応出来る様、相談支援専門員の資質の向上を図ることを目的に研修を実施、参加しました。

また、法人の内部研修に参加をし障害者福祉サービス提供事業所として感染症対策・災害対策・虐待防止についての理解を深めました。

(1) 外部研修

主 催	研 修 名
東京都福祉保健局	東京都相談支援従事者現任者研修 社会福祉事業従事者人権研修【Ⅰ】
日本社会事業大学	発達障害児者支援における教育と福祉の連携について
東京都社会福祉協議会	パワハラ新法はみんなのテーマ～しない・許さない心得 どうすればすべての人の人権を守るトップリーダーになれるか
NBCソフトウェア	アルコール依存症と気分障害
日野市社会福祉協議会	『何があっても福祉サービスを続けるには』福祉防災計画の策定と運用 介護現場でのリスクマネジメント
日野市高次脳機能障害支援センターつくし	高次脳機能障害に関する基礎知識・当事者心理について 高次脳機能障害者支援の方向性～環境としての家族支援の大切さ～
障害者差別のない日野市をつくる会	障害者差別のないまちは誰にとっても住みやすい！

(2) 事業所内研修

日 時	内 容
令和4年11月7日(月)	吐しゃ物の処理・コロナ陽性者発生時の対応
令和5年1月6日(金)	障害者虐待防止法の理解と対応

※事例検討会 12回 11ケース

(3) 法人内研修

日 時	内 容
令和4年7月29日(金)	BCPについて 講師:安原照雄氏(東社協登録講)
令和4年11月7日(月)	吐しゃ物の処理・コロナ陽性者発生時の対応
令和5年1月6日(金)	障害者虐待防止法の理解と対応
令和5年1月20日(金)	職員研究発表会

【安全管理について】

＊事業所全体でつばさとの協働

- ①自衛消防隊を設置し、安全管理に努めました。
- ②避難訓練(火災想定)を3回実施しました。
- ③新型コロナウイルス感染拡大に伴い、法人内の感染症対策委員会にて感染防止策の確認と徹底、マニュアルの見直しに努めました。

【災害対策について】

- ①災害対策委員会を中心に研修の実施や訓練の計画を立てました。
- ②備蓄の棚卸しを行いました。
- ③利用者職員等に非常食等を配布し、災害時への備えを呼びかけました。

【感染症対策について】

- ①うがい手洗い検温チェックシートを作成し、職員の日常的な健康状態について把握しました。
- ②消毒の徹底と換気に努めました。
- ③法人内の感染症対策委員会に参加し、感染症発生時の対応についての周知・研修に取り組みました。
- ④新型コロナウイルス感染の疑いが発生したことを想定してのシミュレーション訓練を行いました。

【事故防止について】

今年度は6件のヒヤリハットと3件の事故報告が上がりました。
環境整備や利用者の特性を理解することで防げるものもありましたが、利用者の急激な状態の変化に予測しきれなかったこともありましたが。日々の観察と振り返りの中で気づきを多く持てるようにしていく事で事故防止に努めていきます。

【虐待防止のための措置について】

利用者の人格を尊重する視点に立ったサービスを提供し、利用者の人権の擁護、虐待の防止等のために研修を実施しました。(事業所内研修・法人研修参照) また、法人における虐待防止委員会による「職員セルフチェックリスト」にも取り組み、不適切な対応を防止する為の話し合いやケース検討を実施してきました。年度末より『気付きの箱』を設置し、良い気付きも含めて共有し合う仕組みを作りました。

【個人情報保護の措置について】

「社会福祉法人おおぞら個人情報保護規程」、「福祉関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン」等に沿って、個人情報の正確性及び重要性を十分認識し、適正な取り扱いに努めました。

【苦情解決について】

今年度の苦情はありませんでした。

【環境負荷の軽減・配慮について】

資源ごみ等の分別及び印刷物の裏紙使用等の徹底により、廃棄物の削減を行うとともに、電気、ガス、ガソリン等の使用量を可能な限り減らし、環境への配慮を行いました。

総括 自己評価	令和3年度の職員体制を継続し、専任の相談支援専門員を中心に3名で支援に当たりました。担当者個人の判断に任されるところは多くありますが、相談担当者会議で支援上の課題や情報共有に努め事業所全体で支える仕組み作りを継続しました。更にこの3名で自立支援協議会を中心とした市内の会議に参加をする体制を整えたことで意識の向上にも繋がりました。 前年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響で訪問や面会に制約がありましたが、関係機関のみ対応可能という事業所も増え比較的足を運ぶことが出来るようになり、関係者会議等を有効的に開催することが出来ています。 ただ、年度末には法人内での異動があり職員2名体制に戻ってしまいました。新規の問い合わせに対しても応じる体制が整わず断り続けている現状があります。今後は法人全体で相談支援専門員を増やす(兼務を含め)ことを検討していきたいと思います。	

【施設概要】

事業の目的

利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者又は障害児の保護者の選択に基づき、適切な保健、医療、福祉、就労支援、教育等のサービスを総合的かつ効率的な提供に努めました。

職員配置

(令和5年3月31日現在)

施設長	1名	常勤職員 (施設長、相談支援専門員・地域活動支援センター指導員兼務)
相談支援専門員	3名	常勤職員 (兼務)
事務員	1名	非常勤職員(兼務)

【令和4年度重点目標について】

障害者(児)への継続的かつ計画的なサービス提供に向けて、サービス等利用計画の作成、事業者との連絡調整及び連携と変化に応じた計画の見直しの為のモニタリングの充実を図りました。

利用者の状態変化に迅速に対応しなければならないケースも多く、行政も含めて関係機関との連携が重要になっています。地域活動支援事業・障害者等相談支援事業と一体的に運営していることから、市内の関係機関との連携も取りやすく、効果的な運営につながっています。

新型コロナウイルスを中心とした感染症対策を徹底し、面会や訪問に一定の制限はあるものの事業を滞らせることなく実施してきました。

【特定相談支援・障害児相談支援事業について】

利用状況	(登録実人数)	146	名	<令和5年3月31日現在>											
	(新規登録者)	1	名												
	(終了者)	4	名												
	(計画書・モニタリング対応件数)														
	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
	計画作成件数	6	4	8	4	4	5	3	2	10	2	1	0	49	4.1
	モニタリング件数	19	19	23	31	27	20	16	16	25	24	26	25	271	22.6
	合計	25	23	31	35	31	25	19	18	35	26	27	25	320	26.7

	(計画相談請求実績)					
		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
	障害者	217	221	405	359	347
	障害児	7	25	8	8	7
	計	224	246	413	367	354

【基本相談支援について】

(一般相談・障害者等相談支援を含む)

相談支援としては、地域活動支援センターにおける一般相談と、障害者等相談支援事業、更に特定相談支援事業所及び障害児相談支援事業所として福祉サービス等の利用に係る計画相談支援と基本相談支援があり、これらを全て併せて対応しています。

サービスを利用せずに生活をしてきたが家族共に年齢を重ねてきたことでどこかに繋がりたいといったケースや65歳を迎えるにあたってどのように動いたら良いのかといった相談が目立ちました。

また、一昨年度より日野市障害者差別解消推進条例に基づく障害を理由とする差別に関する相談窓口となりましたが、直接的な相談はありませんでした。

利用状況	(相談方法)									
		訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
	件数	153	158	8	1,405	312	72	1,502	194	3,804
	(相談内容)									
		福祉サービスの利用等	障害や病状の理解	健康・医療	家族関係	保育・教育	恋愛	家計・経済	住居	生活全般
	件数	2,371	468	776	321	2	17	42	111	2,433
	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	対人関係	連絡調整	情報提供	話し相手	ケア会議	その他	計
	224	62	86	59	471	915	18	46	352	8,774

【会議について】

会議名	対象職種	会議日	実施回数
やまばと職員会議	全 員	第3金曜日	12
ケース検討			12
相談支援担当者会議	相談支援専門員	第1金曜日	12

【実習生の受け入れについて】

感染症対策を講じながら実習生の受入を行いました。

感染症の影響により中学生の職場体験は学校側の中止により受け入れはありませんでした。

	実 習 内 容	期 間	人 数	延べ人数
1	社会福祉士実習	8/2～9/3	1	24

【職員研修について】

あらゆるニーズに対応出来る様、相談支援専門員の資質の向上を図ることを目的に研修を実施、参加しました。

また、法人の内部研修に参加をし障害者福祉サービス提供事業所として感染症対策・災害対策・虐待防止についての理解を深めました。

(1) 外部研修

主 催	研 修 名
東京都福祉保健局	東京都相談支援従事者現任者研修 社会福祉事業従事者人権研修【Ⅰ】
日本社会事業大学	発達障害児者支援における教育と福祉の連携について
東京都社会福祉協議会	パワハラ新法はみんなのテーマ～しない・許さない心得 どうすればすべての人の人権を守るトップリーダーになれるか
NBCソフトウェア	アルコール依存症と気分障害
日野市社会福祉協議会	『何があっても福祉サービスを続けるには』福祉防災計画の策定と運用 介護現場でのリスクマネジメント
日野市高次脳機能障害支援センターつくし	高次脳機能障害に関する基礎知識・当事者心理について 高次脳機能障害者支援の方向性～環境としての家族支援の大切さ～
障害者差別のない日野市をつくる会	障害者差別のないまちは誰にとっても住みやすい！

(2) 事業所内研修

日 時	内 容
令和4年11月7日(月)	吐しゃ物の処理・コロナ陽性者発生時の対応
令和5年1月6日(金)	障害者虐待防止法の理解と対応

※事例検討会 12回 11ケース

(3) 法人内研修

日 時	内 容
令和4年7月29日(金)	BCPについて 講師:安原照雄氏(東社協登録講)
令和4年11月7日(月)	吐しゃ物の処理・コロナ陽性者発生時の対応
令和5年1月6日(金)	障害者虐待防止法の理解と対応
令和5年1月20日(金)	職員研究発表会

【安全管理について】

*事業所全体でつばさとの協働

- ①自衛消防隊を設置し、安全管理に努めました。
- ②避難訓練(火災想定)を3回実施しました。
- ③新型コロナウイルス感染拡大に伴い、法人内の感染症対策委員会にて感染防止策の確認と徹底、マニュアルの見直しに努めました。

【災害対策について】

- ①災害対策委員会を中心に研修の実施や訓練の計画を立てました。
- ②備蓄の棚卸しを行いました。
- ③利用者職員等に非常食等を配布し、災害時への備えを呼びかけました。

【感染症対策について】

- ①うがい手洗い検温チェックシートを作成し、職員の日常的な健康状態について把握しました。
- ②消毒の徹底と換気に努めました。
- ③法人内の感染症対策委員会に参加し、感染症発生時の対応についての周知・研修に取り組みました。
- ④新型コロナウイルス感染の疑いが発生したことを想定してのシミュレーション訓練を行いました。(R4年11月7日)

【事故防止について】

該当案件はありませんでした。

【虐待防止のための措置について】

利用者の人格を尊重する視点に立ったサービスを提供し、利用者の人権の擁護、虐待の防止等のために研修を実施しました。（事業所内研修・法人研修参照） また、法人における虐待防止委員会による「職員セルフチェックリスト」にも取り組み、不適切な対応を防止する為の話し合いやケース検討を実施してきました。年度末より『気付きの箱』を設置し、良い気付きも含めて共有し合う仕組みを作りました。

【個人情報保護の措置について】

「社会福祉法人おおぞら個人情報保護規程」、「福祉関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン」等に沿って、個人情報の正確性及び重要性を十分認識し、適正な取り扱いに努めました。

【苦情解決について】

今年度の苦情はありませんでした。

【環境負荷の軽減・配慮について】

資源ごみ等の分別及び印刷物の裏紙使用等の徹底により、廃棄物の削減を行うとともに、電気、ガス、ガソリン等の使用量を可能な限り減らし、環境への配慮を行いました。

総括 自己評価	新規登録者を5名迎えて24名登録で事業を開始しました。利用率は前年度比約1.6%増加しました。原因としては登録利用者が増えた事と新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いて来たためかと思われますが、利用児童やその家族に陽性者が発生をしたり濃厚接触者に認定をされての利用の中止が引き続きあり冬にはインフルエンザの流行もありまだ十分とは言えない利用率にとどまっています。令和5年度は小学生2名と中学生1名の新規利用が予定されています。引き続き感染症対策を行いながら利用率の改善の努力を続けたいと思います。 運転手の退職がありその影響で職員の休暇取得が困難になりました。そのため学校の夏季休業中に職員の夏季休業取得のために4日間の事業所としての夏季休業を実施しました。従来も利用児童が少ない期間だったためか利用家庭から特に苦情等はなく実施出来ました。 感染症対策のため個別支援計画作成等のための保護者面談についてZOOMや電話の利用といった方法を昨年度に続き試みました。今後も必要な取り組みと思われます。													
【施設概要】 事業の目的 学校に通学する障害児に対して、放課後等デイサービスを提供することにより、児童及び保護者の福祉の増進を図ることを目的としました。 職員配置 (令和5年3月31日現在) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">施設長</td> <td style="width: 10%;">1 名</td> <td style="width: 60%;">(法人常務理事、事務長を兼務)</td> </tr> <tr> <td>管理者</td> <td>1 名</td> <td>常勤職員1名(児童発達支援管理責任者を兼務)</td> </tr> <tr> <td>児童発達支援管理責任者</td> <td>1 名</td> <td>(管理者を兼務)</td> </tr> <tr> <td>児童指導員</td> <td>7 名</td> <td>常勤職員 1名 非常勤職員 6名</td> </tr> </table>			施設長	1 名	(法人常務理事、事務長を兼務)	管理者	1 名	常勤職員1名(児童発達支援管理責任者を兼務)	児童発達支援管理責任者	1 名	(管理者を兼務)	児童指導員	7 名	常勤職員 1名 非常勤職員 6名
施設長	1 名	(法人常務理事、事務長を兼務)												
管理者	1 名	常勤職員1名(児童発達支援管理責任者を兼務)												
児童発達支援管理責任者	1 名	(管理者を兼務)												
児童指導員	7 名	常勤職員 1名 非常勤職員 6名												
【施設運営方針について】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">①</td> <td>利用児童と学校との連携により、発達段階に応じた個別の援助と支援を行いました。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">②</td> <td>関係自治体及び地域の保健・医療・福祉サービス機関との連携を図り総合的なサービスの提供に努めました。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">③</td> <td>児童福祉法他関係法令を遵守し、事業を実施しました。</td> </tr> </table>			①	利用児童と学校との連携により、発達段階に応じた個別の援助と支援を行いました。	②	関係自治体及び地域の保健・医療・福祉サービス機関との連携を図り総合的なサービスの提供に努めました。	③	児童福祉法他関係法令を遵守し、事業を実施しました。						
①	利用児童と学校との連携により、発達段階に応じた個別の援助と支援を行いました。													
②	関係自治体及び地域の保健・医療・福祉サービス機関との連携を図り総合的なサービスの提供に努めました。													
③	児童福祉法他関係法令を遵守し、事業を実施しました。													
【令和4年度重点目標について】 令和3年度障害福祉サービス等報酬改定の動向に則した職員配置に取り組み、非常勤職員6名を児童指導員として登録をしました。 個別支援計画の作成を主とする援助と支援の充実が求められました。そのための家庭との連携と職員の資質向上に努めました。 6か月ごとの個別支援計画作成のための家族との面談、計画の作成および報告の流れは確立できましたが、研修を主とした職員の資質向上はコロナ禍の影響のため不十分でした。 人事評価制度の活用にはまだ課題もあり、今後より職務の基準を明確化することで職員のスキルアップと個人面談による人材育成が必要と思われます。 令和元年度受審した第三者評価を基に利用者の方々に良質で適切なサービスを提供し事業の質を向上のため努力をしました。														

支援の質の向上と支援内容の適正化のため利用者保護者等向けと職員向けの自己評価を実施しました。

【新規事業について】

特にありません。

【放課後等デイサービスの内容について】

①	児童発達支援計画の作成	
②	基本事業	
	ア 自立した日常生活を送るための支援	
	イ 創作的活動、作業活動	※音楽療法士による活動も30回行いました。
	ウ 余暇の提供	
	エ 相談業務	
	オ 地域交流の機会の提供	
	カ 送迎サービス	※年間で延べ3,768人の利用がありました。 (1日平均16人)

【保健衛生について】

①	家庭と連携し、毎日の利用児童の健康状態を把握しました。また、服薬、既往症等の調査を実施しました。
②	施設全体として衛生意識の啓発、向上に努めました。

【食事の提供について】

食事の提供は実施しませんでした。

【送迎について】

学校開業日は、七生特別支援学校に事業所のワゴン車でお迎えに行きました。
学校休業日は自宅付近までお迎えに行きました。
帰りは希望者を自宅付近まで送りました。

年間利用人数	延べ3,768人
--------	----------

【家庭との連携について】

①	毎日の連絡帳で利用児童の状況を相互に把握しました。
②	個別支援計画作成と報告のための保護者面談はコロナウイルス感染防止のため電話、ZOOM利用、文書による報告、従来通りの面談のいずれかの方法を選択してもらいました。

【関係機関との連携について】

コロナウイルス感染対策のため、利用児童の所属学校の学校行事等が非公開となり例年行っていた情報交換ができませんでした。
日野市発達支援関係機関連絡協議会が書面開催から対面による会議に戻り参加をしています「エール」の担当相談員とは随時情報交換を行っています。
民間の相談支援事業所主催によるサービス担当支援者会議に参加をしています。

【地域交流について】

①	ボランティアセンターにボランティアの派遣を依頼していましたがコロナの感染状況を考慮して受け入れを中止しています。
②	平山台健康・市民支援センター内で活動をしている「平山台交流の会」より野菜畑の提供を受けて、芋掘りを行いました。
③	年3回平山台健康・市民支援センター利用団体連絡会で日野市及び各団体と情報交換等を行っています。

【ボランティアの受け入れについて】

コロナウイルスの感染状況を考慮して中止をしています。

【実習生の受け入れについて】

介護等体験事業による体験学生を1名5日間受け入れています。

【会議について】

会議名	対象職種	実回数	会議名	対象職種	実回数
連絡 打ち合わせ	全員	毎日	個別支援計画関 連会議	児童発達支援 管理責任者 指導員	3回
ケース会議	全員	10回	職員会議	全員	10回

【職員研修について】

テーマ	主催者	参加者	
チームリーダー研修	東京都社会福祉協議会	児童指導員	1名
児童発達支援管理責任者 更新研修	(東京都委託事業) 公益財団法人総合健康推進財団	児発管	1名
災害対策	法人内研修	児童指導員 児発管	6名 1名
虐待防止	法人内研修	児童指導員 児発管	6名 1名
感染症対策	法人内研修	児童指導員 児発管	6名 1名
職員研修発表会	法人内研修	児童指導員 児発管	6名 1名
乙種防火管理者講習	東京消防庁	児発管	1名
日野市児童虐待防止 講演会	日野市子ども家庭支援センター	児童指導員	1名

【修繕について】

- ・パソコン修理
- ・事務室及び玄関鍵修繕
- ・女子トイレ扉鍵修繕

【安全管理について】

①	利用児童の安全を図ると同時に、建物及び内外の施設の事故防止に心掛けました。
②	利用児童に万が一怪我等があった場合は、協力医療機関または保護者の指定する医療機関に連絡する等必要な処置を講ずる他、家庭等に連絡を取るなど適切な対応に努めました。

(1) 防災対策

①	防災対策については、地域との連携も図りながら、事業所周辺の整理整頓に心がけました。
②	消防計画に基づき、火災予防に努めるとともに、自衛消防活動により、定期的に避難訓練を行いました。
③	震災対策についても、消防計画に基づき、安全かつ迅速な対応ができるようにしました。
④	日野消防署の検査を受けその結果防火管理者の専任及び乙種防火管理講習を受講が必要と指摘を受けました。それにより新しい消防計画を策定中です。

(2) 防犯対策

防犯対策は、警察署、警備会社と連携をとって対応しました。

【災害対策について】

BCP計画の策定中です。

【感染症対策について】

法人内研修により嘔吐物処理の方法や備品の準備や管理を学びました。新型コロナウイルス感染症対策としては法人の制定した対応マニュアルの周知及び日常の消毒作業を続けています。そして、学校での利用児童の引き渡し時に検温と手指消毒を行っています。そして手洗いがいの徹底と可能な限りマスクの着用を指導しました。

【緊急時の対応について】

①	緊急時の各家庭への連絡については、電話等により、速やかな対応を図りました。
②	組織、任務分担を整備し、万一の緊急事態にも、速やかに適切な対応がとれるようにしました。

【虐待防止のための措置について】

利用者の人格を尊重する視点に立ったサービスを提供し、利用者の人権の擁護、虐待の防止等のために、虐待防止のための研修資料を職員で学習しました。

法人における虐待防止委員会による「職員セルフチェックリスト」にも年2回取り組みました。

日野市子ども家庭支援センター主催の講演会に児童指導員1名が参加をして職員会議で報告を受け内容や情報を共有しました。

【個人情報保護の措置について】

「社会福祉法人おおぞら個人情報保護規程」、「福祉関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン」に沿って、個人情報の正確性、重要性を十分認識し、適正な取り扱いに努めました。

【苦情解決について】

利用者及び家族からの苦情はありませんでした。
家族からの相談等に関しては誠意を持って対処し、適切に対応することができました。

【環境負荷の軽減・配慮について】

資源ごみ等の分別及び印刷物の裏紙使用等の徹底により、廃棄物の削減を行うとともに、電気、ガス、ガソリン等の使用量を可能な限り減らし、環境への配慮を行いました。

【日課表】

(学校開業日)	
14時00分～16時00分	余暇活動・学習等
16時00分～16時15分	おやつ提供
16時15分～17時00分	設定プログラム (運動・絵画・創作・音楽等)
17時00分～	家庭への送り開始
18時00分	終了

(学校休業日)	
9時00分～10時00分	家庭へのお迎え
10時00分～11時00分	余暇活動・学習等
11時00分～12時00分	設定プログラム (運動・絵画・創作・音楽等)
12時00分～13時00分	昼食
13時00分～14時00分	余暇活動
14時00分～15時00分	夏季休暇中は水遊び等 それ以外は屋外活動
15時00分～16時00分	余暇活動
16時00分～	家庭への送り開始
17時00分	終了

【年間行事実施】

月	行事名	備 考
4月	お花見	
12月	クリスマス会	
3月	卒業生を祝う会	
毎月利用児童のお誕生日会を行いました。		

利用状況	◎ 利用者(学校別・学年別・性別)状況 (別表1-1)のとおり			
	◎ 月別利用状況 (別表1-2)のとおり			
	◎ 送迎サービス利用状況 (別表1-3)のとおり			
修繕 実施状況	実施日	修繕項目	施工業者	金額
	令和4年4月	パソコン修理	日本HP	49,280円
	令和4年6月	事務室及び玄関鍵	株式会社矢内工務店	106,920円
	令和5年3月	女子トイレ扉鍵	株式会社矢内工務店	48,730円

事故処理 状況	発生年月日	事故内容	処理状況
	令和4年7月12日	利用児童新型コロナウイルス感染	10日間自宅療養となる。
	令和4年7月23日	利用児童新型コロナウイルス感染	10日間自宅療養となる。
	令和4年10月3日	公用車(ハイエース)センター内駐車場で 接触事故	日野警察署に報告、現場検証を受ける。
	令和4年12月9日	利用児童新型コロナウイルス感染	10日間自宅療養となる。

利用者(学校別・学年別・性別)状況

(別表1-1)

(令和5年3月31日現在)

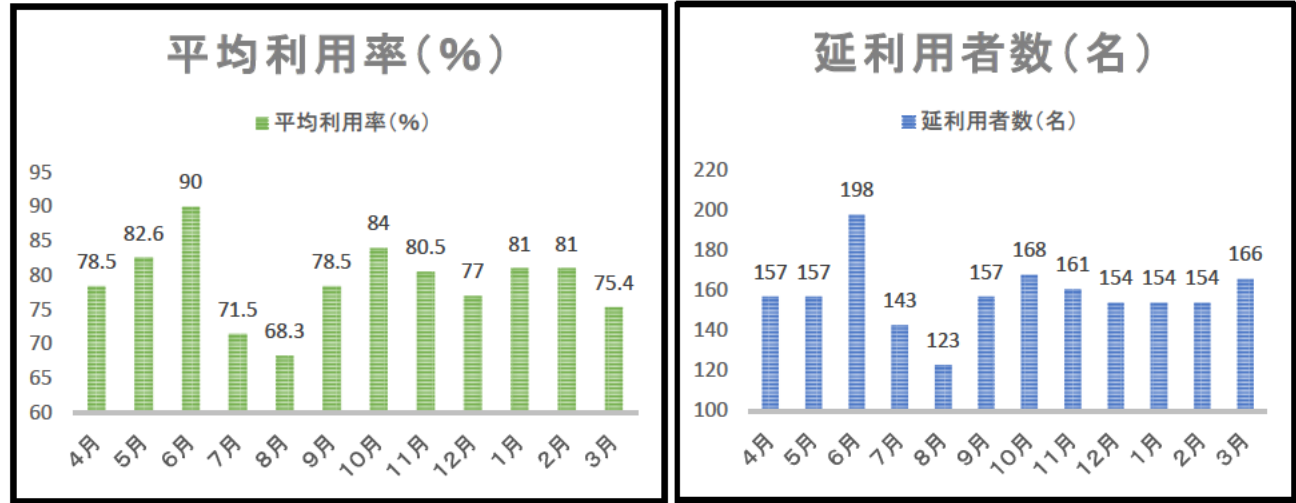
	小1		小2		小3		小4		小5		小6		中1		中2		中3		高1		高2		高3		小計		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
七生特別支援学校	2	1	3	1	1	1		2	2		3		1		1			1	2		1	1	1		17	7	24
平山小																											
平山中																											
七生中																											
合計	2	1	3	1	1	1		2	2		3		1		1			1	2		1	1	1		17	7	24

月別利用状況

(別表1-2)

月	4	5	6	7	8	9	小計	年間集計	
開所日数	20	19	22	20	18	20	119		
定員数	10	10	10	10	10	10	10		
在籍者数	24	24	24	24	24	24	—		
最大利用者数	200	190	220	200	180	200	1,190		
実利用者数	157	157	198	143	123	157	935		
平均利用率(%)	78.5	82.6	90.0	71.5	68.3	78.5	78.5		
月	10	11	12	1	2	3	小計	年間集計	
開所日数	20	20	20	19	19	22	120		
定員数	10	10	10	10	10	10	10		239 日
在籍者数	24	24	24	24	24	24	—		10 人
最大利用者数	200	200	200	190	190	220	1,200		— 人
実利用者数	168	161	154	154	154	166	957		2,390 名
平均利用率(%)	84.0	80.5	77.0	81.0	81.0	75.4	79.7		1,892 名
									79.2 %

※ 定員数をもとに、算出した利用状況です。
 ※ 最大利用者数は、定員10名に開所日数を乗じた数です。



送迎サービス利用状況

(別表1-3)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	(人)	
利用人数	311	349	394	295	227	312	1,888		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計	
利用人数	333	317	304	306	305	315	1,880		
									3,768

総括 自己評価	令和3年3月に開所し実質2年目を迎えたしえろでしたが、年度の前半(4月～7月)は職員体制が整わず、利用日の制限を行う時期もあり、利用者・ご家族には大変ご迷惑をおかけしました。8月に正規職員1名を新規雇用するとともに、有期契約職員の補充も徐々に整うことで、週末も含めた利用を提供することができるようになりました。 利用者の日々の生活においては、年度後半に利用日が安定すること、また2年目になり集団での生活にも慣れてくるなどの要因もあり、ほとんど利用者が安定して日々過ごせるようになりました。 一年を通して、コロナ感染には十分な配慮を行い、事業所内の消毒、清掃、日々の健康チェックに努めてきましたが、やむを得なく感染により陽性になった方、濃厚接触になった方が出たことともありましたが、ご家族の理解・協力もあり大きな感染拡大には至りませんでした。 日中活動の場である、つばさ(就労継続支援B型)、はくちょう(生活介護)とは日々連携を取りながら、利用者の支援の充実を図ってきました。 12月16日(金)に日野市により行われた実地検査を踏まえ、改善事項の改善に努めました。 今後、さらなる職員体制の充実を図るための、夜勤対応の有期契約職員を中心とした雇用対策を進めることで、一日も早い365日開所に向けての体制づくりを目指すとともに、より良いサービス提供のための職員のスキルアップに努めたいと思います。	

【施設概要】

事業の目的

利用者一人一人が個別支援計画に基づき、地域において、共同して自立した日常生活又は、社会生活が営むことが出来るよう務めてきました。

また、利用者の身体及び精神の状況並び、その置かれている環境に応じて、日常生活上の援助が利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立ち適切かつ効果的に行うことに努めてきました。

職員配置

(令和5年3月31日現在)

施設長	1 名	常務理事、事務長、障害児放課後クラブ施設長を兼務
管理者	1 名	常勤職員(サービス管理責任者・生活支援員を兼務)
サービス管理責任者	1 名	常勤職員(管理者・生活指導員を兼務)
生活支援員	4 名	常勤職員3名(兼務)・非常勤職員1名
世話人	10 名	常勤職員1名(兼務) 非常勤職員9名(うち兼務8名)
夜間支援従事者	11 名	常勤職員2名(兼務) 非常勤職員9名(兼務)

【施設運営方針について】

- (1) 地域において自立した日常生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じ共同生活住居において、食事の提供、相談等の日常生活上の援助を適切に行うよう努めました。
- (2) 職員は利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ってサービスを提供し、漫然かつ画一的とならないよう配慮することに努めました。
- (3) 事業の実施に当たっては、地域との結び付きを重視し、関係市町村、他の障害福祉サービス事業者、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めました。

- (4) 共同生活援助事業の使命を果たすために、事業所ぐるみの努力を行ないました。
- (5) 利用者、職員及び地域の関わりにより、お互いの人格を高めあい、利用者の社会参加と自立を育むことに努めました。
- (6) 利用者の人権を尊重し、守ることに努めました。

【令和4年度重点目標について】

- (1) サービス管理責任者を中心に作成した個別支援計画に基づき、チーム全体で利用者一人一人の援助と支援の充実を図ることに努めました。
- (2) 人事評価制度を活用し、職務の基準を明確化することでの職員のスキルアップと個人面談による人材育成に努めました。
- (3) 第三者評価の受審は行えませんでした。

【共同生活援助の支援の内容について】

昨年度に引き続き、利用者の状況をアセスメントしながら個別支援計画に落とし込み、どの職員も共通の意識をもって支援にあたることを大事にしてきました。

月に一度、スタッフ会議を開催し、職員が顔をそろえて情報交換と徹底を図ってきたほか、日常の支援の中で齟齬があったときはその場で注意し合うことで事業計画及び個別支援計画に立ち返る支援ができるように話し合ってきました。

【保健衛生について】

家族、法人内関係施設との連携に努め、日々の利用者の健康状態の把握に努めてきました。同時に、法人全体で運営する感染症対策委員会に参加する中で、体験的な研修を含めて職員の衛生意識の啓発、向上に努めてきました。

11月11日(金)に「感染症対策」研修をスタッフ会議の中で行いました。

【食事の提供について】

安全かつ季節感のある食材を提供する業者を選んで、美味しくかつ楽しい食事作りに努めました。

(食事の提供実績)

利用者分	朝食	1, 578 食	その他 (職員等)	朝食	453 食
	夕食	1, 571 食		夕食	458 食

【送迎について】

必要に応じ自宅への送り迎え、また医療機関への受診を要する利用者への送迎を行いました。

【家庭との連携について】

随時、電話連絡、お便りまた面談を通して緊密な連携を図ってきました。
更に、信頼関係を深めて利用者支援に努めて参ります。

【関係機関との連携について】

東京都、日野市及び立川市等の公共団体のほか、委託している医療機関との綿密な連携をもとに、総合的な情報交換行ってきました。

日野市内でグループホーム連絡会の会議、研修に参加しました。

【地域交流について】

- ① 市内一斉清掃への参加をしました。(5月・11月の最終日曜日)
- ② 近隣住民の方には積極的に挨拶をするよう心掛けています。

【ボランティアの受け入れについて】

今年度は実現しませんでした。コロナ禍による制約が解けた時に、適切なボランティア等の活用を検討したいと考えています。

【会議について】

会議名	対象職種	実回数	備 考
スタッフ会議	全員	毎月1回 計12回	(原則として) 第2金曜日午前10:00～12:00
職員会議	常勤職員	随時	チームワークとサービスの在り方の構築等の意見交換ほか
身体拘束等適正化のための指針策定準備委員会	施設長 サービス管理責任者	1回	令和5年1月27日(金) 「身体拘束等の適正化のための指針(しえろ)案を策定」

【職員研修等について】

(外部研修)

テーマ	主催者	参加者	
サービス管理責任者 更新研修	(東京都委託事業) 公益財団法人総合健康推進財団	サービス管理 責任者	1 名
オンライン 障害者グループホーム 従事者基礎研修	(東京都委託事業) 株式会社トライ	世話人 (有期契約職員)	1 名

(事業所内研修)

テーマ	内 容	参加者	
身体拘束等の適正化 に向けて	・「身体拘束等の適正化のための指針」 の確認 ・「不適切な身体拘束を防止するため の手引き(鳥取県)」の読み合わせ	施設長 サビ管 生活支援員 世話人	7 名

* 法人内研修「災害対策(BCP)」(4名)「感染症対策」(9名)「虐待防止」(7名)
「職員研究発表会」(4名)

【修繕等について】

実施日	修繕等内容	施工業者	金額
令和5年2月20日	居室改修工事	積水ハウスリフォーム	627,000円
令和5年3月13日	2階リビングカーテンレール	積水ハウス株式会社 西東京カスタマーズセンター	5,280円

【安全管理について】

日常的な健康管理の実施のほか、怪我・事故を未然に防止するために、施設内外の環境整備への気配りに努めました。実際、消防・避難訓練を複数実施して安全管理の意識の高揚を図りました。

(1) 防災対策

- ① 震災対策については、消防計画に基づいて安全かつ迅速な対応に努めました。
- ② 防災対策については事業所周辺の整理整頓に心がけました。

(2) 防犯対策

防犯対策は、防犯設備を整え、必要時に警察署、警備会社と連携をとって対応の心がけました。

【災害対策について】

- ① 法人内の委員会活動と連動して事業継続計画(BCP)の作成しました。しかしながら、研修・訓練の実施までには至りませんでした。

【感染症対策について】

- ① 起床後すぐ、及び外部からのしえろへの戻りのたびに、体温検査、手洗い、消毒を実践しました。
- ② 法人の感染症対策委員会に参画してしえろでの情報の徹底を図りました。
- ③ 11月に職員全員を対象に、感染症対策研修「新型コロナ対応マニュアルを参考に新型コロナウイルス感染の疑い発生時の対応チェックリストを参加者で意見交換しながらの作成」及び「嘔吐物の処理の動画視聴」しました。
- ④ 昨年度に引き続き東京都の指示にもとに、職員に対するPCR検査を毎週実施してコロナ感染の有無を確かめ体調管理に万全を期しています。

【緊急時の対応について】

関連部門でのコロナ陽性者の出現に伴い、しえろで対応を決め、すみやかに家族への周知を図りました。

緊急対応のマニュアルをもとに話し合い、適切な対応がとれるように職員間で確認しました。

【虐待防止のための措置について】

障害者虐待防止法及び障害者差別解消法等に基づき、利用者の人格を尊重する視点に立ったサービスの提供に努めました。また、虐待防止のための責任者を設置しました。このような体制に加えて、法人での虐待防止委員会に参加し、虐待防止セルフチェックリストに定期的に取り組み、虐待が起こりやすい職場環境の確認、改善を図りました。

虐待防止のために法人全体で虐待防止委員会を運営し、職員に対する継続的な研修を実施しました。また、支援現場でのヒヤリハット事例の報告、分析を行う体制をとって支援の見直しを図って支援に努めました。虐待防止等のための責任者を設置しました。

身体拘束の適正化に向けて、身体拘束の適正化のための指針の策定及びスタッフ会議で指針の確認と「不適切な身体拘束を防止するための手引き(鳥取県)」の読み合わせを行い、法人研修として「虐待防止研修」(1月13日:参加者7名)を実施しました。

【個人情報保護の措置について】

「社会福祉法人おおぞら個人情報保護規定」、「福祉関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン」等に沿って、個人情報の正確性及び重要性を理解して適正な取り扱いをするように努めてきました。

個人情報の取得時には、個人情報の使用目的を利用者に理解いただき、同意を得た上で情報を取得しました。また、個人情報の適正管理と安全管理に適切、迅速かつ効率的な対応ができるように、責任体制を明確化に努めました。

【苦情解決について】

特段、苦情解決に関わる事例はありませんでした。

【環境負荷の軽減・配慮について】

資源ごみ等の分別及び印刷物の裏紙使用等の徹底により、廃棄物の削減を行うとともに、電気、ガス、ガソリン等の使用量を可能な限り減らし、環境への配慮を行いました。

【日課表】 (別表1)

【年間行事実施】 (別表2)

【利用の状況】 (別表3)

事故処理 状況	発生年月日	事故内容	処理状況
	令和4年8月4日	利用者の不穩時に服薬する薬を事務室に戻し忘れた。	他の職員がすぐに気づき戻す。
	令和4年9月6日	保険証を一時的に紛失する。	思いつくところをすぐに探した結果、しえろ駐車場にて発見する。
	令和4年9月10日	週新薬の服薬を忘れた。	一人支援の際の再チェックを徹底する。
	令和4年9月12日	翌日の就寝薬を前日の夜服薬した。	服薬時のダブルチェックの徹底を確認する。
	令和4年12月5日	服薬セット時に薬を1条入れ忘れる。	家庭への連絡、謝罪。服薬セット時の確認の徹底。
	令和4年12月8日	洗面所での利用者の転倒。	ぶつけた場所を冷やすとともに夜勤者が1時間ごとに様子を確認する。
	令和5年1月25日	他の利用者の薬を服用させた。	薬局へ副作用の確認をし家族に説明と謝罪。日中活動先に連絡。1日様子観察。 ダブルチェックの再確認。

しえろ 日課表

(別表1)

	平日		休日	
時間	利用者	職員	利用者	職員
↓	(就寝)	(夜間支援)	(就寝)	(夜間支援)
6:00	起床、洗面、身支度	起床、朝食準備	起床、洗面、身支度	起床、朝食準備
7:00	朝食、服薬	朝食、服薬管理	朝食、服薬	朝食、服薬管理
8:00	身支度、通所準備	身だしなみチェック	身支度	身だしなみチェック
8:40～9:50	事業所へ出発	見送り		
		清掃・洗濯 買物・事務作業ほか	余暇活動ほか	
11:30			昼食	昼食準備・昼食
13:00			余暇活動ほか	
15:30	帰宅・入浴	受入、夕食準備	入浴	夕食準備
		入浴介助ほか		入浴介助ほか
18:30	夕食、服薬	夕食、服薬管理	夕食、服薬	夕食、服薬管理
19:00	余暇時間	食事片付け	余暇時間	食事片付け
20:30	居室での余暇時間 就寝準備	就寝準備	居室での余暇時間 就寝準備	就寝準備
22:00	就寝	就寝声掛け (夜間支援)	就寝	就寝声掛け (夜間支援)

令和4年度 しえろ 年間行事実施

(別表2)

月	行事名	月	行事名	月	行事名	備考
4月	お花見	8月		12月	クリスマス会	(その他) 誕生日会
5月	端午の節句	9月	お月見	1月	お正月	
6月		10月	ハロウィン	2月	節分	
7月	七夕	11月		3月	桃の節句	

【利用の状況】

(別表3)

(年齢別状況及び障害支援区分別利用者状況) (令和5年3月31日現在)

おおるり	(男性)	4名
ひばり	(女性)	4名
計		8名

(入退所状況)

※ 7月21日付で
1名退所

年 齢		～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60歳以上		計
性 別		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
障害 支援 区分	区分1											
	区分2							1				1
	区分3											
	区分4			2	1		1					4
	区分5		1									1
	区分6				1			1				2
	小計		1	2	2		1	2				8
身障手帳保有者								1				1